

都道府県医師会における女性医師に 関わる問題への取り組み状況調査結果

令和2年2月

日本医師会男女共同参画委員会

目次

問1 貴会における役員ならびに女性役員数についてご回答ください……………	1
問2 貴会における会員区分ごとの女性会員数等についてご回答ください……………	2
問3-1 貴会では貴都道府県下の全女性医師数(貴会会員外、未就労の 女性医師数を含む)を把握していますか……………	11
2 貴会では貴都道府県下の未就労の女性医師数を把握するための 取り組みをされていますか……………	12
3 貴会で貴都道府県下における未就労の女性医師数を把握している 場合は、可能な範囲でその数をご回答ください……………	12
問4-1 女性医師に関わる委員会や部会を設置していますか……………	14
2 その委員会や部会の名称をご回答ください……………	14
3 その委員会や部会の構成員数をご回答ください(男女別、会員区分別)……	16
4 その委員会や部会の具体的な活動を教えてください……………	22
5 その委員会や部会は勤務医委員会や勤務医部会と連携して 活動を行っていますか……………	29
問5 女性医師への取り組みについてご回答ください……………	31
(1) 女性医師に関する研修会や講習会を実施していますか……………	31
(2) 女性医師等相談窓口事業に対する取り組み状況と、その具体的な 内容を教えてください……………	37
(3) その他の取り組みがありましたらご記入ください……………	41
問6 取り組み上、何か問題をかかえていれば、その具体的な内容をご記入ください	46
問7 今後どのような取り組みが必要であるとお考えですか……………	49

回 答 日

	都道府県医師会	回答日
1	北海道	2019年10月24日
2	青森県	2019年10月24日
3	岩手県	2019年10月25日
4	宮城県	2020年1月21日
5	秋田県	2019年10月30日
6	山形県	2019年10月28日
7	福島県	2019年10月23日
8	茨城県	2019年10月21日
9	栃木県	2019年10月24日
10	群馬県	2019年10月7日
11	埼玉県	2019年10月30日
12	千葉県	2019年10月11日
13	東京都	2019年10月9日
14	神奈川県	2019年10月10日
15	新潟県	2019年10月28日
16	富山県	2019年10月28日
17	石川県	2019年10月28日
18	福井県	2019年10月18日
19	山梨県	2019年10月17日
20	長野県	2019年10月15日
21	岐阜県	2019年10月23日
22	静岡県	2019年10月28日
23	愛知県	2019年10月23日
24	三重県	2019年10月10日
25	滋賀県	2019年10月23日
26	京都府	2019年11月8日
27	大阪府	2019年10月24日
28	兵庫県	2019年10月23日
29	奈良県	2019年10月18日
30	和歌山県	2019年10月4日
31	鳥取県	2019年10月21日
32	島根県	2019年10月24日
33	岡山県	2019年10月21日
34	広島県	2019年10月16日
35	山口県	2019年10月3日
36	徳島県	2019年10月1日
37	香川県	2019年10月10日
38	愛媛県	2019年11月1日
39	高知県	2019年11月11日
40	福岡県	2019年10月21日
41	佐賀県	2019年10月25日
42	長崎県	2019年10月17日
43	熊本県	2019年10月29日
44	大分県	2020年1月27日
45	宮崎県	2019年10月25日
46	鹿児島県	2019年10月29日
47	沖縄県	2019年10月25日

問1 貴会における役員ならびに女性役員数についてご回答ください

	都道府県医師会	役員総数	女性役員数	女性役員割合
1	北海道	32	1	3.1%
2	青森県	26	1	3.8%
3	岩手県	32	0	0.0%
4	宮城県	23	3	13.0%
5	秋田県	23	2	8.7%
6	山形県	21	2	9.5%
7	福島県	27	1	3.7%
8	茨城県	19	1	5.3%
9	栃木県	26	2	7.7%
10	群馬県	13	0	0.0%
11	埼玉県	47	2	4.3%
12	千葉県	19	3	15.8%
13	東京都	21	3	14.3%
14	神奈川県	23	0	0.0%
15	新潟県	18	1	5.6%
16	富山県	21	2	9.5%
17	石川県	29	2	6.9%
18	福井県	25	0	0.0%
19	山梨県	21	2	9.5%
20	長野県	20	0	0.0%
21	岐阜県	28	3	10.7%
22	静岡県	15	0	0.0%
23	愛知県	25	1	4.0%
24	三重県	21	0	0.0%
25	滋賀県	18	2	11.1%
26	京都府	31	3	9.7%
27	大阪府	20	2	10.0%
28	兵庫県	36	4	11.1%
29	奈良県	17	0	0.0%
30	和歌山県	15	2	13.3%
31	鳥取県	17	1	5.9%
32	島根県	25	0	0.0%
33	岡山県	20	1	5.0%
34	広島県	30	1	3.3%
35	山口県	20	3	15.0%
36	徳島県	32	3	9.4%
37	香川県	26	3	11.5%
38	愛媛県	33	2	6.1%
39	高知県	27	2	7.4%
40	福岡県	27	3	11.1%
41	佐賀県	23	1	4.3%
42	長崎県	26	1	3.8%
43	熊本県	23	0	0.0%
44	大分県	26	1	3.8%
45	宮崎県	23	1	4.3%
46	鹿児島県	23	2	8.7%
47	沖縄県	18	1	5.6%
	合 計	1,131	71	6.3%

※ハイライトは女性医師役員数が1割以上の県

問2 貴会における会員区分ごとの女性会員数等についてご回答ください

	都道府県医師会	会員区分	区分の定義	会員数 (人)	女性会員数 (人)	女性会員 割合	
1	北海道	A	個人または医療法人が開設する病院、診療所の開設者、若しくは管理者	2,433	182	7.5%	
		B1	A会員以外の病院、診療所等の管理者	613	43	7.0%	
		B2	A、B1会員以外の者	4,731	681	14.4%	
		C1	医育機関の教授の職にある者	101	5	5.0%	
		C2	医育機関の准教授、講師、助教及び助手の職にある者	120	18	15.0%	
		C3	医育機関のC1、C2会員以外の者	387	82	21.2%	
		小計			8,385	1,011	12.1%
2	青森県	A1	開業医	667	43	6.4%	
		A2B	勤務医(医賠償加入)	267	60	22.5%	
		B	勤務医	216	24	11.1%	
		C	研修医	110	41	37.3%	
		県B	県医師会まで加入	143	20	14.0%	
		小計			1,403	188	13.4%
3	岩手県	A	開業医、私立病院長又は開設者	684	40	5.8%	
		B	勤務医、自宅会員、岩手医科大学(理事長・学長・副学長・教授・准教授・講師・助教)	1,248	188	15.1%	
		C	岩手医科大学(任期付助教・大学院生・専門研修医・研究員・非常勤講師・非常勤医師)	350	107	30.6%	
		小計			2,282	335	14.7%
4	宮城県	Aa	施設長である医師。ただし、国の開設する医療施設及び医療法第7条の2に規定する医療施設の施設長を除く。課税所得額500万円以上の会員・法人医療機関で開設者院長・理事のうち本会会員1名	1,397	120	8.6%	
		Ab	施設長である医師。ただし、国の開設する医療施設及び医療法第7条の2に規定する医療施設の施設長を除く。課税所得額500万円未満の会員	63	7	11.1%	
		Ba	A会員及びB会員以外の医師。 大学における教授、その他の施設・機関の長及び部長・課(科)長・医長	832	95	11.4%	
		Bb	A会員及びB会員以外の医師。 大学における准教授・講師、その他の施設・機関におけるBa及びBc以外の医師	636	172	27.0%	
		Bc	A会員及びB会員以外の医師。 大学における助教・医員及び施設・機関に属さない医師	337	91	27.0%	
		C	大学における大学院生及び研究生並びに医師法に基づく研修医	335	67	20.0%	
		小計			3,600	552	15.3%

	都道府県医師会	会員区分	区分の定義	会員数 (人)	女性会員数 (人)	女性会員 割合
5	秋田県	A①	病院・診療所の開設者、管理者及びそれに準ずる会員	575	44	7.7%
		A②B 31歳以上	上記A①、A②、C会員以外の会員	134	36	26.9%
		A②C 31歳以下	上記A①、A②、C会員以外の会員	5	0	0.0%
		A②C	医師法に基づく研修医	13	7	53.8%
		B	上記A②B会員のうち日医医賠償加入の除外を申請した会員	750	99	13.2%
		C	上記A②C会員のうち日医医賠償加入の除外を申請した会員	86	36	41.9%
		小計			1,563	222
6	山形県	A1	日医A1会員	670	52	7.8%
		A2B	日医A2B会員	217	52	24.0%
		A2C	日医A2C会員	11	4	
		B	日医B会員	643	77	12.0%
		C	日医C会員	12	3	0.0%
		準会員	県医準会員	150	38	0.0%
		小計			1,703	226
7	福島県	A①	病院・診療所の開設者、管理者及びそれに準ずる会員	1,219	74	6.1%
		A②(B)	上記A①及びA②B会員以外の会員	486	114	23.5%
		B	上記A②(B)会員のうち日医賠償加入の除外を申請した会員	827	99	12.0%
		C	上記A②C会員のうち日医医賠償加入の除外を申請した会員	135	42	31.1%
		小計			2,667	329
8	茨城県	A1	私的病院、診療所の開設者、管理者	1,397	149	10.7%
		A2	日医医賠償保険適用の勤務医	546	149	27.3%
		B	A1、A2、Cに該当しない会員	668	128	19.2%
		C	県庁、筑波大学、東医大茨城医療センター 医師会所属	224	52	23.2%
		小計			2,835	478
9	栃木県	A1	官公会社立・個人立 病院長	105	6	5.7%
		A2	官公会社立・個人立 有床診療所長	99	10	10.1%
		A3	官公会社立・個人立 無床診療所長	983	89	9.1%
		B	勤務医	1,147	261	22.8%
		小計			2,334	366
10	群馬県	A	開業医・管理者等	1,304	124	9.5%
		B	勤務医等	1,054	221	21.0%
		C1	A、B、C2以外の会員	82	40	48.8%
		C2	臨床研修医	95	21	22.1%
		小計			2,535	406

	都道府県医師会	会員区分	区分の定義	会員数 (人)	女性会員数 (人)	女性会員 割合
11	埼玉県	A	開業している会員	3,570	386	10.8%
		B	病院、診療所その他に勤務している会員	3,051	744	24.4%
		B特	大学医師会会員(A会員以外)	226	13	5.8%
		C	研修医	181	64	35.4%
		小計			7,028	1,207
12	千葉県	診療所管理者	診療所の管理者	2,803	380	13.6%
		病院管理者	20床～	88	4	4.5%
		病院管理者	100床～	129	5	3.9%
		病院管理者	300床～	64	2	3.1%
		勤務医・一般	勤務医	1,506	296	19.7%
		勤務医・大国県	大学医師会、国立医師会、県庁医師会の勤務医	163	32	19.6%
		研修医	研修医	4	0	0.0%
		非開業医	非開業、休業中	171	27	15.8%
		小計			4,928	746
13	東京都	A	病院、診療所の開設・管理者	10,095	1,883	18.7%
		B	勤務医	4,408	1,450	32.9%
		大学正会員	大学医師会の勤務医	2,565	623	24.3%
		大学特別会員	地区医師会所属の大学勤務医	3,545	1,437	40.5%
		小計			20,613	5,393
14	神奈川県	A1	診療所の院長	5,167	733	14.2%
		A1A	病院の院長	329	17	5.2%
		A2B	勤務医(医賠償加入)	1,330	394	29.6%
		A2C	研修医(医賠償加入)	258	92	35.7%
		B	勤務医(医賠償未加入)	2,001	362	18.1%
		C	研修医(医賠償未加入)	116	25	21.6%
		小計			9,201	1,623
15	新潟県	A0	個人診療所の開設者・管理者及びそれに 準ずる会員	418	40	9.6%
		A6	法人病院の開設者・管理者及びそれに 準ずる会員	104	3	2.9%
		A9	法人診療所の開設者・管理者及びそれに 準ずる会員	704	61	0.0%
		B	A会員及びC会員並びにD会員以外の会員	1,729	318	18.4%
		C	医育機関に勤務している会員	233	37	15.9%
		D	医師法に基づく研修医であって申請をした会員	122	43	0.0%
		小計			3,310	502

	都道府県医師会	会員区分	区分の定義	会員数 (人)	女性会員数 (人)	女性会員 割合
16	富山県	A	医療機関の開設者、管理者、医療法人等の 理事長、老健施設の管理者及びこれに 準ずる会員	704	66	9.4%
		B1	公的医療機関等の管理者である会員	38	4	10.5%
		B2a	公的・私的機関、官公庁、大学あるいは 研究所等に勤務する会員	741	154	20.8%
		B2b	上記B2a会員のうち、医師免許取得後8年 未満(4月1日現在)の医師	36	10	27.8%
		B3	臨床研修医(医師法第16条の2における 臨床研修を行う者)	21	9	0.0%
		C	以上各号のいずれにも該当しない会員	95	20	21.1%
		小 計			1,635	263
17	石川県	A	病院、診療所、老人保健施設を開設又は 管理する会員	766	49	6.4%
		B	A及びC以外の会員	913	164	18.0%
		C	医師法に基づく研修医	139	41	29.5%
		小 計			1,818	254
18	福井県	A	開業医、管理者	444	24	5.4%
		B	勤務医	626	105	16.8%
		C	研修医	38	17	0.0%
		小 計			1,108	146
19	山梨県	A	開業している会員	531	49	9.2%
		B	病院・医院に勤務している会員	460	88	19.1%
		C	山梨大学に在籍している会員	310	86	27.7%
		小 計			1,301	223
20	長野県	A1-1	診療所並びに介護老人保健施設の開設者、 又は管理者及びそれに準ずる会員	1,198	107	8.9%
		A1-2	病院の開設者又は管理者及びそれに 準ずる会員	128	3	2.3%
		B1	上記会員以外で医療機関、介護老人保健 施設に勤務している会員	1,266	210	16.6%
		B2	行政機関に勤務している会員	13	4	30.8%
		C	医育機関に勤務している会員及び医師法に 基づく研修医	31	4	12.9%
		D	上記に該当しない会員	152	34	22.4%
		小 計			2,788	362
21	岐阜県	A	開業医、病院の管理者等	1,312	122	9.3%
		B	勤務医	1,448	323	22.3%
		C	研修医	156	53	34.0%
		小 計			2,916	498

	都道府県医師会	会員区分	区分の定義	会員数 (人)	女性会員数 (人)	女性会員 割合
22	静岡県	A	病院、診療所及び介護老人保健施設の 管理者である医師	2,339	187	8.0%
		B	A会員及び医師法第16条の2第1項に規定 する臨床研修を受けている医師以外の医師	1,876	377	20.1%
		C	医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修 を受けている医師	57	16	28.1%
		小 計			4,272	580
23	愛知県	A	病院又は診療所等を開設する会員、管理 する会員、或いはこれに準ずる会員	4,651	517	11.1%
		B	AあるいはC会員のいずれでもない会員	4,799	1,208	25.2%
		C	医師法に基づく研修医であって申請をした 会員	699	215	30.8%
		小 計			10,149	1,940
24	三重県	A①	病院・診療所・その他の施設の開設者又は 管理者	1,185	921	77.7%
		B①	A、B②、C会員以外の会員	1,471	295	20.1%
		B②	三重大学医師会会員	112	18	16.1%
		C	医師法に基づく研修医	222	66	29.7%
		小 計			2,990	1,300
25	滋賀県	A	病院又は診療所(公的医療機関は除く)を 開設又は管理する会員	853	63	7.4%
		B	A会員以外の勤務医	782	145	18.5%
		小 計			1,635	208
26	京都府	A	病院・診療所等を管理する医師	2,146	300	14.0%
		B1	病院・診療所・行政機関等に勤務する医師	1,631	342	21.0%
		B2	医師養成課程を有する大学に在籍する医師	143	25	17.5%
		C	医師法に基づく研修医	189	69	36.5%
		D	上記区分に属さない医師	262	52	19.8%
		小 計			4,371	788
27	大阪府	A	管理医師である会員	7,566	964	12.7%
		B	勤務医師である会員	8,595	2,022	23.5%
		C	医師法に基づく研修医並びに医育機関 (在阪5大学)において研修及び研究中の会員	1,298	464	35.7%
		小 計			17,459	3,450
28	兵庫県	A	医療機関を開設管理する会員及び勤務し 当該医療機関を管理する会員並びにこれに 準ずる会員	4,561	479	10.5%
		B	A及びC会員に該当しない会員(勤務医等)	4,360	1,108	25.4%
		C	医療機関に無給で勤務する会員、大学院で 教育を受けている会員及び卒後臨床研修 制度による研修中の会員	238	82	34.5%
		小 計			9,159	1,669

	都道府県医師会	会員区分	区分の定義	会員数 (人)	女性会員数 (人)	女性会員 割合
29	奈良県	A	病院・診療所の開設者、管理者	1,054	104	9.9%
		Ad	老人保健施設、企業内の健康管理室等、特定受診者のための施設の開設者、管理者である会員	9	0	0.0%
		B	A会員、Ad会員、C会員以外の会員	1,036	230	22.2%
		C	医師法に基づく研修医	3	1	33.3%
		小 計			2,102	335
30	和歌山県	A	病院・診療所(公的医療機関等は除く)を開設する個人或いは法人の代表者並びに管理者及びそれに準ずる会員等	904	100	11.1%
		B	A・Cに該当しない会員	673	142	21.1%
		C	医師法に基づく研修医	9	2	22.2%
		小 計			1,586	244
31	鳥取県	A1	診療所・私的病院管理者	417	25	6.0%
		A2	公的病院管理者	21	2	9.5%
		B	勤務医・自宅会員	976	195	20.0%
		小 計			1,414	222
32	島根県	甲種 会費会員	医療法第31条に基づく公的医療機関、開設主体が国、社会保険関係団体、公益法人、医療(保健)生活協同組合等の開設する医療機関以外の病院・診療所・介護老人保健施設その他の介護サービス提供施設、介護老人福祉施設の開設者たる医師(法人にあつては代表者たる医師)・これらの医療機関や施設の管理者たる医師に賦課する会費を納める会員	474	35	7.4%
		乙種 会費会員	甲種会費を賦課する者以外で、勤務して給料を受けている医師又は同一医療機関にいる2人以上の医師のうちで、主たる1人を除いた者或いは、医師にして開業又は、勤務しない者に賦課する会費を納める会員。但し、本人が希望し医療機関の開設管理者が認めたものは、甲種会費とすることができる	638	135	21.2%
		丙種 会費会員	医師法に基づく研修医及び所属長が研修医と認めた者	13	5	38.5%
		小 計			1,125	175

	都道府県医師会	会員区分	区分の定義	会員数 (人)	女性会員数 (人)	女性会員 割合
33	岡山県	A	医療機関等の開設者又は管理者である会員及びこれらに準ずる会員をいい、各医療機関等に1名とする	1,276	129	10.1%
		AD	会費を減免されているA会員	130	6	4.6%
		B	A及びC会員以外の会員	1,472	301	20.4%
		BD	会費を減免されているB会員	235	25	10.6%
		C	医師法に基づく研修医	33	8	24.2%
		小計		3,146	469	14.9%
34	広島県	A	開業医	2,281	212	9.3%
		B	勤務医	4,211	989	23.5%
		C	研修医	396	108	27.3%
		小計		6,888	1,309	19.0%
35	山口県	第1号	開設者又は管理者及びその同族	1,259	149	11.8%
		第2号イ	公的病院等の管理者	34	0	0.0%
		第2号ロ	公的診療所等の管理者	25	1	4.0%
		第2号ハ	その他の勤務医	812	123	15.1%
		第3号	大学行政保健衛生施設の勤務医、医業を営まない(引退した)者、医師法に基づく研修医	471	101	21.4%
		小計		2,601	374	14.4%
36	徳島県	A①	開業している会員で管理者である者	638	54	8.5%
		A②B	勤務している会員で医賠償加入者	347	121	34.9%
		A②C	医師法に基づく研修医で医賠償加入者	1	0	0.0%
		B	勤務している会員で医賠償に加入しない者	506	126	24.9%
		C	医師法に基づく研修医で医賠償に加入しない者	3	1	33.3%
		小計		1,495	302	20.2%
37	香川県	A	私的医療機関の開設者又は管理者である医師(法人病院・診療所の管理者である医師を含む)	719	69	9.6%
		B	上記以外	1,185	257	21.7%
		小計		1,904	326	17.1%
38	愛媛県	開業医	国立及び公的医療機関並びにそれに準ずる医療機関(医療保健業で特に公益性の高い機関)以外の病院並びに診療所の医師である開設者又は管理者	1,032	62	6.0%
		勤務医	上記以外	1,987	396	19.9%
		小計		3,019	458	15.2%

	都道府県医師会	会員区分	区分の定義	会員数 (人)	女性会員数 (人)	女性会員 割合
39	高知県	A1	日本医師会に準ずる	486	53	10.9%
		A2(B)	日本医師会に準ずる	502	118	23.5%
		A2(B)	日医A②(B)会員のうち公的病院院長	5	0	0.0%
		A2(C)	日本医師会に準ずる	28	8	28.6%
		B	日本医師会に準ずる	289	40	13.8%
		B	日医B会員のうち公的病院院長	8	0	0.0%
		B'	高知大学医師会に所属する日医非会員	17	3	17.6%
		小計			1,335	222
40	福岡県	A	開業している会員	3,904	305	7.8%
		B1	勤務している会員	3,894	805	20.7%
		B2	九州大学医師会会員、福岡県庁医師会 会員並びに大学・大学院に勤務の会員	728	178	24.5%
		C	医師法に基づく臨床研修医、並びに医育 機関に無給で所属している会員	299	144	48.2%
		小計			8,825	1,432
41	佐賀県	A	病院・診療所・老人保健施設の開設者・ 管理者及びそれに準ずる会員(但し公的 医療機関を除く)	632	49	7.8%
		B1	公的医療機関の長及び医療機関に勤務 する母体保護法指定医並びに公的医療 機関を除く医療機関の勤務会員 (但し保健所長を除く)	530	106	20.0%
		B2	上記以外の会員	283	56	19.8%
		C	医師法に基づく研修医であって申請をした者	36	17	0.0%
		小計			1,481	228
42	長崎県	A1	日本医師会に準ずる	1,157	91	7.9%
		A2(B)	日本医師会に準ずる	1,456	334	22.9%
		B	日本医師会に準ずる	601	96	16.0%
		A2(C)	日本医師会に準ずる	8	4	50.0%
		C	日本医師会に準ずる	121	42	34.7%
		小計			3,343	567
43	熊本県	A	私的医療機関(法人を含む)施設の管理者 及び開設者	1,305	84	6.4%
		B1	大学卒業後10年以上の会員	1,586	286	18.0%
		B2	大学卒業後10年未満の会員	132	33	25.0%
		C	医師法に基づく研修医	75	17	22.7%
		小計			3,098	420

	都道府県医師会	会員区分	区分の定義	会員数 (人)	女性会員数 (人)	女性会員 割合
44	大分県	AA①	病院・診療所の開設者、管理者及び それに準ずる会員	872	73	8.4%
		BA②(B)	勤務医で日医医賠償に加入している会員	403	103	25.6%
		BB	勤務医で日医医賠償の除外を申請した会員	894	142	15.9%
		CA②(C)	医師法に基づく研修医で日医医賠償に 加入している会員	63	15	23.8%
		CC	医師法に基づく研修医で日医医賠償除外を 申請した会員	2	0	0.0%
		小 計			2,234	333
45	宮崎県	A	個人立の病院・診療所・法人の管理者等	784	48	6.1%
		B	有給勤務会員	915	184	20.1%
		C	医師法に基づく研修医	119	37	31.1%
		小 計			1,818	269
46	鹿児島県	A	個人開業している会員、法人医療機関 (ただし公的医療機関又はそれに準ずる 医療機関は除く)の代表者である会員、 又は管理者である会員	1,161	82	7.1%
		B	A会員及びC会員以外の会員	2,746	566	20.6%
		C	医師法に基づく研修医	113	43	38.1%
		小 計			4,020	691
47	沖縄県	A	私的医療機関(保健施設を含む)の開設者、 管理医師もしくはこれに準ずる医師	764	59	7.7%
		B	A・C会員以外の勤務医師	1,189	227	19.1%
		C	国・地方公務員及びこれに準ずる医師	424	80	18.9%
		小 計			2,377	366
合計				189,799	34,007	17.9%

問3-1 貴会では貴都道府県下の全女性医師数(貴会会員外、未就労の女性医師数を含む)を把握していますか

	都道府県医師会	1. 調査や地域ネットワークの中などで把握している	2. 厚生労働省のデータでほぼ把握している	3. 把握していない
1	北海道			○
2	青森県			○
3	岩手県			○
4	宮城県		○	
5	秋田県			○
6	山形県			○
7	福島県		○	
8	茨城県			○
9	栃木県			○
10	群馬県			○
11	埼玉県			○
12	千葉県			○
13	東京都			○
14	神奈川県			○
15	新潟県			○
16	富山県			○
17	石川県			○
18	福井県			○
19	山梨県			○
20	長野県			○
21	岐阜県			○
22	静岡県			○
23	愛知県			○
24	三重県			○
25	滋賀県			○
26	京都府			○
27	大阪府		○	
28	兵庫県			○
29	奈良県			○
30	和歌山県		○	
31	鳥取県			○
32	島根県			○
33	岡山県			○
34	広島県			○
35	山口県			○
36	徳島県			○
37	香川県			○
38	愛媛県			○
39	高知県			○
40	福岡県			○
41	佐賀県			○
42	長崎県	○		
43	熊本県		○	
44	大分県			○
45	宮崎県		○	
46	鹿児島県		○	
47	沖縄県			○
	合計	1	7	39

問3-2 貴会では貴都道府県下の未就労の女性医師数を把握するための取り組みをされていますか

問3-3 貴会で貴都道府県下における未就労の女性医師数を把握している場合は、可能な範囲でその数をご回答ください

	都道府県医師会	1. はい	2. いいえ	取り組みの状況
1	北海道		○	
2	青森県		○	
3	岩手県	○		試みているが情報収集が不可能である。今後、日本医師会女性医師バンク都道府県医師会専用ページを活用していきたい。
4	宮城県		○	
5	秋田県		○	
6	山形県		○	
7	福島県		○	
8	茨城県		○	
9	栃木県		○	
10	群馬県		○	
11	埼玉県		○	
12	千葉県		○	
13	東京都		○	
14	神奈川県		○	
15	新潟県		○	
16	富山県		○	
17	石川県	○		臨床研修病院にメンターを配置し、女性医師の情報を得るようにしているが、把握できていない。
18	福井県		○	
19	山梨県		○	
20	長野県		○	
21	岐阜県		○	
22	静岡県		○	
23	愛知県		○	
24	三重県		○	
25	滋賀県		○	
26	京都府		○	
27	大阪府		○	
28	兵庫県		○	
29	奈良県		○	
30	和歌山県		○	
31	鳥取県		○	
32	島根県		○	
33	岡山県		○	
34	広島県		○	
35	山口県		○	

	都道府県医師会	1. はい	2. いいえ	取り組みの状況
36	徳島県		○	
37	香川県		○	
38	愛媛県		○	
39	高知県		○	
40	福岡県		○	
41	佐賀県		○	
42	長崎県	○		長崎大学メディカルワークライフバランスセンターと協働で県内各医療機関に依頼し、女性医師の就労状況(パート含む)の調査を定期的に行い、把握に努めている。
43	熊本県		○	
44	大分県		○	
45	宮崎県		○	
46	鹿児島県		○	なかなか把握が困難である。
47	沖縄県		○	
	合 計	3	44	

問4-1 女性医師に関わる委員会や部会を設置していますか

問4-2 その委員会や部会の名称をご回答ください

	都道府県医師会	1.はい	規約等	名 称	2.いいえ	3.設置予定	予定日
1	北海道				○		
2	青森県	○	○	男女共同参画委員会			
3	岩手県	○	○	岩手県医師会女性医部会			
4	宮城県	○		宮城県医師会女性医師支援センター (宮城県女性医師支援会議)			
5	秋田県	○		男女共同参画委員会 (旧女性医師委員会(H28年に名称変更))			
6	山形県	○		勤務医部会役員会			
7	福島県	○		男女共同参画・医師支援委員会			
8	茨城県	○		男女共同参画委員会			
9	栃木県	○	○	男女共同参画委員会、女性医師部会			
10	群馬県	○	○	女性医師支援委員会			
11	埼玉県	○		埼玉県医師会女性医師支援検討委員会			
12	千葉県	○		男女共同参画推進委員会			
13	東京都	○		次世代医師・女性医師支援委員会			
14	神奈川県			平成30年度まで勤務医部会内で男女共同 参画委員会として存在したが、現在は無い		○	令和2年4月
15	新潟県	○		女性勤務医小委員会			
16	富山県	○	○	男女共同参画委員会			
17	石川県	○		女性医師支援委員会			
18	福井県	○		女性医師支援委員会			
19	山梨県				○		
20	長野県	○	○	勤務医委員会			
21	岐阜県	○		○岐阜県医師会男女共同参画委員会 (勤務医部会合同) (参考)○岐阜市医師会女性医師委員会 ○岐阜地区女医会 ○岐阜地区男女共同参画委員会			
22	静岡県	○		勤務医委員会 ワークライフバランス ワーキンググループ(ワークライフバランス 推進委員会から改編)			
23	愛知県	○		男女共同参画委員会			
24	三重県	○	○	女性医師の委員会			
25	滋賀県	○		医師のワーク・ライフ・バランスを考える会 (ワーキンググループ)			
26	京都府	○		医師のワークライフバランス委員会			

	都道府県医師会	1.はい	規約等	名 称	2.いいえ	3.設置予定	予定日
27	大阪府	○		○男女共同参画検討委員会 ○(府内二次医療圏4地域毎)ブロック女性 医師支援ワーキンググループ ○「産休・育休中の代替医師を確保するた めの運用システム」を検討するための ワーキンググループ			
28	兵庫県	○	○	○男女共同参画推進委員会 ○兵庫県女性医師の会			
29	奈良県				○		
30	和歌山県	○	○	男女共同参画委員会			
31	鳥取県	○		女性医師支援委員会			
32	島根県	○		島根県医師会男女共同参画委員会			
33	岡山県	○	○	岡山県医師会女医部会			
34	広島県	○	○	広島県医師会女性医師部会			
35	山口県	○	○	山口県医師会男女共同参画部会			
36	徳島県	○		○男女共同参画委員会 ○保育支援委員会			
37	香川県				○		
38	愛媛県	○	○	愛媛県医師会女性医師部会			
39	高知県	○		高知県医師会会員問題委員会			
40	福岡県	○	○	男女共同参画部会委員会			
41	佐賀県					○	令和元年度内
42	長崎県	○		長崎県医師会男女共同参画委員会			
43	熊本県	○		熊本県医師会男女共同参画委員会			
44	大分県	○	○	大分県医師会男女共同参画委員会			
45	宮崎県	○		女性医師委員会			
46	鹿児島県	○		鹿児島県医師会女性医師委員会			
47	沖縄県	○		沖縄県医師会女性医師部会			
	計	41	15		4	2	

問4-3 その委員会や部会の構成員数をご回答ください(男女別、会員区分別)

※「問4-1」で「1. はい」と回答した都府県医師会が回答

	都道府県医師会	会員区分	全構成員数(人)	女性構成員数(人)	男性構成員数(人)	女性構成員割合
2	青森県	A1	1	1	0	100.0%
		A2B	4	3	1	75.0%
		B	3	1	2	33.3%
		非会員	5	3	2	60.0%
		小計	13	8	5	61.5%
3	岩手県	A	5	5	0	100.0%
		B	14	13	1	92.9%
		小計	19	18	1	94.7%
4	宮城県	Aa	2	2	0	100.0%
		Ba	1	0	1	0.0%
		Bb	3	3	0	100.0%
		Bc	2	2	0	100.0%
		非会員	7	7	0	100.0%
		小計	15	14	1	93.3%
5	秋田県	A①	1	1	0	100.0%
		A②(B) 31歳以上	2	2	0	100.0%
		B	7	5	2	71.4%
		小計	10	8	2	80.0%
6	山形県	A1	3	0	3	0.0%
		A2B	2	1	1	50.0%
		B	15	0	15	0.0%
		小計	20	1	19	5.0%
7	福島県	A①	3	1	2	33.3%
		A②(B)	2	2	0	100.0%
		B	3	3	0	100.0%
		小計	8	6	2	75.0%
8	茨城県	A1	1	1	0	100.0%
		A2	2	2	0	100.0%
		B	5	2	3	40.0%
		C	1	1	0	100.0%
		非会員	3	0	3	0.0%
		小計	12	6	6	50.0%

	都道府県医師会	会員区分	全構成員数(人)	女性構成員数(人)	男性構成員数(人)	女性構成員割合
9	栃木県 (男女共同参画委員会)	A1	2	1	1	50.0%
		A2	1	0	1	0.0%
		A3	6	6	0	100.0%
		B	5	4	1	80.0%
		非会員	4	2	2	50.0%
		小計	18	13	5	72.2%
	(女性医師部会)	A1	3	3	0	100.0%
		A2	3	3	0	100.0%
		A3	38	38	0	100.0%
		B	87	87	0	100.0%
		非会員	93	93	0	100.0%
		小計	224	224	0	100.0%
10	群馬県	A	6	5	1	83.3%
		B	2	1	1	50.0%
		会員外	1	1	0	100.0%
		医師以外	1	0	1	0.0%
		小計	10	7	3	70.0%
11	埼玉県	A	12	5	7	41.7%
		B	5	1	4	20.0%
		非会員 (他県大学医師会員)	1	1	0	100.0%
		小計	18	7	11	38.9%
12	千葉県	会員	20	15	5	75.0%
		非会員	0	0	0	0.0%
		NPO職員	1	0	1	0.0%
		行政	1	1	0	100.0%
		小計	22	16	6	72.7%
13	東京都	A	2	2	0	100.0%
		大学正会員	9	6	3	66.7%
		大学特別会員	1	1	0	100.0%
		非会員	4	4	0	100.0%
		小計	16	13	3	81.3%
15	新潟県	A0	1	1	0	100.0%
		B	3	3	0	100.0%
		小計	4	4	0	100.0%
16	富山県	A	7	2	5	28.6%
		B1	1	0	1	0.0%
		B2a	12	7	5	58.3%
		小計	20	9	11	45.0%

	都道府県医師会	会員区分	全構成員数(人)	女性構成員数(人)	男性構成員数(人)	女性構成員割合
17	石川県	A	2	2	0	100.0%
		B	7	3	4	42.9%
		小計	9	5	4	55.6%
18	福井県	B	5	2	3	40.0%
		非会員	3	3	0	100.0%
		小計	8	5	3	62.5%
20	長野県	A1-1	1	0	1	0.0%
		A1-2	5	0	5	0.0%
		B1	3	0	3	0.0%
		非会員	2	1	1	50.0%
		小計	11	1	10	9.1%
21	岐阜県 (岐阜県医師会男女 共同参画委員会)	A	5	1	4	20.0%
		B	12	7	5	58.3%
		非会員	1	1	0	100.0%
		小計	18	9	9	50.0%
	(岐阜市医師会女性 医師委員会)	A	5	5	0	100.0%
		B	3	3	0	100.0%
		小計	8	8	0	100.0%
	(岐阜地区女医会)	A・B	67	67	0	100.0%
		非会員	9	9	0	100.0%
		小計	76	76	0	100.0%
	(岐阜地区男女共同 参画委員会)	A・B	4	3	1	75.0%
		非会員	6	3	3	50.0%
小計		10	6	4	60.0%	
22	静岡県	A	2	0	2	0.0%
		B	5	3	2	60.0%
		非会員	4	1	3	25.0%
		小計	11	4	7	36.4%
23	愛知県	A	3	1	2	33.3%
		B	9	7	2	77.8%
		C	1	1	0	100.0%
		非会員	2	2	0	100.0%
		小計	15	11	4	73.3%
24	三重県	A①	8	5	3	62.5%
		B①	8	8	0	100.0%
		B②	2	1	1	50.0%
		小計	18	14	4	77.8%

	都道府県医師会	会員区分	全構成員数(人)	女性構成員数(人)	男性構成員数(人)	女性構成員割合
25	滋賀県	A	6	5	1	83.3%
		B	6	6	0	100.0%
		非会員	1	0	1	0.0%
		小計	13	11	2	84.6%
26	京都府	A	2	1	1	50.0%
		B1	4	1	3	25.0%
		非会員	5	3	2	60.0%
		小計	11	5	6	45.5%
27	大阪府 (男女共同参画検討 委員会)	A	10	7	3	70.0%
		B	9	6	3	66.7%
		非会員	1	1	0	100.0%
		小計	20	14	6	70.0%
	(ブロック女性医師支援 ワーキンググループ)	A	16	12	4	75.0%
		B	18	14	4	77.8%
		非会員	2	2	0	100.0%
		小計	36	28	8	77.8%
	(「産休・育休中の代替 医師を確保するための 運用システム」を検討 するためのワーキング グループ)	A	2	0	2	0.0%
		B	12	4	8	33.3%
		C	1	0	1	0.0%
		非会員	1	0	1	0.0%
小計	16	4	12	25.0%		
28	兵庫県 (男女共同参画推進 委員会)	A	11	9	2	81.8%
		B	5	5	0	100.0%
		小計	16	14	2	87.5%
	(兵庫県女性医師の 会)	A	195	168	27	86.2%
		B	133	131	2	98.5%
		C	5	5	0	100.0%
		未入会	33	33	0	100.0%
		小計	366	337	29	92.1%
30	和歌山県	A	6	4	2	66.7%
		B	3	2	1	66.7%
		小計	9	6	3	66.7%
31	鳥取県	A1	2	1	1	50.0%
		A2	1	0	1	0.0%
		B	6	5	1	83.3%
		小計	9	6	3	66.7%
32	島根県	甲種会費	2	0	2	0.0%
		乙種会費	4	3	1	75.0%
		小計	6	3	3	50.0%

	都道府県医師会	会員区分	全構成員数(人)	女性構成員数(人)	男性構成員数(人)	女性構成員割合
33	岡山県	A	13	12	1	92.3%
		B	17	17	0	100.0%
		小計	30	29	1	96.7%
34	広島県	A	4	4	0	100.0%
		B	15	13	2	86.7%
		小計	19	17	2	89.5%
35	山口県	第1号	7	7	0	100.0%
		第2号ハ	2	2	0	100.0%
		第3号	2	2	0	100.0%
		小計	11	11	0	100.0%
36	徳島県 (男女共同参画委員会)	A①	3	1	2	33.3%
		A②B	4	3	1	75.0%
		B	3	0	3	0.0%
		小計	10	4	6	40.0%
	(保育支援委員会)	A①	6	4	2	66.7%
		A②B	2	2	0	100.0%
		B	2	2	0	100.0%
		小計	10	8	2	80.0%
38	愛媛県	開業医	3	3	0	100.0%
		勤務医	9	7	2	77.8%
		小計	12	10	2	83.3%
39	高知県	A1	8	2	6	25.0%
		A2(B)	5	2	3	40.0%
		B	2	0	2	0.0%
		小計	15	4	11	26.7%
40	福岡県		17	11	6	64.7%
		小計	17	11	6	64.7%
42	長崎県	A1	2	0	2	0.0%
		A2(B)	3	2	1	66.7%
		B	5	5	0	100.0%
		非会員	2	0	2	0.0%
		小計	12	7	5	58.3%
43	熊本県	A	5	2	3	40.0%
		B1	3	2	1	66.7%
		小計	8	4	4	50.0%
44	大分県	AA①	14	5	9	35.7%
		BB	4	3	1	75.0%
		非会員	1	0	1	0.0%
		小計	19	8	11	42.1%

	都道府県医師会	会員区分	全構成員数(人)	女性構成員数(人)	男性構成員数(人)	女性構成員割合
45	宮崎県	A	6	5	1	83.3%
		B	4	2	2	50.0%
		非会員	3	3	0	100.0%
		小計	13	10	3	76.9%
46	鹿児島県	A	3	2	1	66.7%
		B	6	6	0	100.0%
		小計	9	8	1	88.9%
47	沖縄県	A	1	1	0	100.0%
		B	6	3	3	50.0%
		C	5	5	0	100.0%
		小計	12	9	3	75.0%
合計			1,312	1,061	251	80.9%

問4-4 その委員会や部会の具体的な活動を教えてください

※「問4-1」で「1. はい」と回答した都府県医師会が回答

	都道府県医師会	具体的な内容
2	青森県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員会は年に2回開催 ○ 男女共同参画関連の会議が開催される際は、委員(全委員または担当地区の委員)に出席を依頼する
3	岩手県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩手県医師会女性医部会幹事会を年2回開催している ○ 岩手県医師会女性医部会総会を年1回開催している ○ 「女性医師就業支援事業運営協議会」「支援調整委員会」合同会議を年1回開催し、県の委託事業について協議を行っている ○ 「医学生、研修医等をサポートするための会」に申請し、岩手県医師会女性医部会と岩手医科大学医学生との懇談会を開催している ○ 「地域における女性医師支援懇談会」に申請し、会を開催している ○ 日本医師会主催の各会(男女共同参画フォーラム等)に参加している
4	宮城県	<p>各種セミナーの開催、相談事業、保育支援等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医学生・研修医支援セミナー(平成30年6月20日) ○ 第12回女性医師支援セミナー(平成30年10月27日) ○ 女性医師支援セミナー(仙北地区・平成31年3月1日) ○ 女性医師支援セミナー(仙南地区・平成31年4月25日) ○ 女性医師支援センター意見交換会(平成31年3月13日) ○ 郡市医師会との意見交換会(平成31年1月31日、2月14日、2月22日) ○ 第15回男女共同参画フォーラム準備会(平成30年8月1日、11月28日、平成31年3月6日) ○ 宮城県女性医師支援会議(平成30年9月12日、平成31年3月6日) ○ 宮城県女性医師支援センター各部会(平成30年9月12日、平成31年3月6日)
5	秋田県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性医師等支援事業 ○ 「医学生・研修医等をサポートするための会」の開催 ○ イクボス啓発活動 ○ 病院訪問 ○ あきた医師総合支援センター(秋田大学)との連携
6	山形県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 山形県研修医歓迎レセプション 医師会、山形県、蔵王協議会の三者共催により、県内の臨床研修医を対象として研修会及び歓迎パーティーを行っている。 ○ 山形県臨床病院ガイダンス 県が主催する病院ガイダンスにて、医師会活動について説明をする時間を設けている。 ○ 女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会 山形県病院協議会との懇談会において、病院長、病院開設者・管理者等へ講演をしていただいた。
7	福島県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女共同参画や女性医師支援に関する研修会、会議等の企画 ○ 「医師の仕事・育児状況に関する調査」の実施
8	茨城県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女共同参画フォーラム企画・開催 ○ 高校生作文コンクールの実施・表彰 ○ 茨城県からの委託事業(勤務環境改善支援センター事業)内での女性医師就業支援相談窓口(病児保育支援含む)の設置 ○ 女性医師支援懇談会の開催

	都道府県医師会	具体的な内容
9	栃木県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女共同参画委員会 委員会(年1回) 「医学生・研修医等をサポートするための会」(年1回) 「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」(年1回) ○ 女性医師部会 理事会(年1回) 総会・特別講演会(年1回)
10	群馬県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 群馬県医師会保育サポーターバンクの運営・拡充の検討 ○ 「医学生・研修医等をサポートするための会」の開催・検討 ○ 日本医師会女性医師支援事業・男女共同参画事業への協力
11	埼玉県	必要に応じ年に数回、開催している。
12	千葉県	<p>日本医師会女性医師支援センターからの補助事業や県医師会事業により女性医師をサポートしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「女性医師の勤務環境整備に関する病院長等の講習会」 ○ 「地域における女性医師支援懇談会」 ○ 「医学生、研修医等をサポートする会」 ○ 男女共同参画懇談会 ○ 婚活交流会～多職種意見交換会～ ○ 男女共同参画推進委員会(年3～4回)
13	東京都	<p>男女共同参画やワーク・ライフ・バランス、女性医師支援、女性医師の就労環境問題等について協議検討するとともに、「医学生、研修医等をサポートするための会」の開催支援、医学生に対する「懸賞論文」の募集、研修医ウェルカム・オリエンテーションの企画立案を行っていく予定である。 (令和元年10月現在 委員会開催は各月1回)</p>
16	富山県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成30年度事業報告(座談会、巡回相談、医学部4年生への講義等) ○ 2020年度活動計画について(中部ブロック会議開催等)
17	石川県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 勤務医活動推進委員会並びに女性医師支援委員会の合同委員会の開催 ○ 勤務医フォーラム、病診連携の集いの開催 ○ 石川県女性医師就業継続支援事業(県委託事業)の実施
18	福井県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員会を年1回開催(前年度の事業報告、当年度の事業計画) ○ 「地域における女性医師支援懇談会」を開催 ○ 「医学生、研修医をサポートするための会」を開催
20	長野県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開業医と勤務医の連携強化 ○ 勤務医の入会促進 ○ 勤務医の医師会活動への協力と提言 ○ 女性医師対策 ○ 生涯教育の積極的参加と病診連携の検討

	都道府県医師会	具体的な内容
21	岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県の委託事業として、年2回ほど男女共同参画講演会(そのうち1回は「医学生・研修医等をサポートする会」、女性医師等窓口相談員養成のための研修会を行い、行政とも連携して補助金・法制度についての講習会を組み入れている(県医師会) 【参考:地域医師会主体の活動】 ○ 年に1回、各病院での女性医師問題を提示してもらい、地区医師会として出来ることを中心に対応している。また、大きな問題は、県の男女共同参画委員会に上げている(岐阜市医師会女性医師委員会) ○ 研修会開催を中心に、まず女性医師が集まる場を設けることを中心に活動している。その場で各々の抱える問題を話し合い、解決の糸口を考えている(岐阜地区女医会) ○ 市内病院での女性医師問題の対応窓口設置について、病院長に説明を行う。岐阜地域における問題を提起し、県の委員会に提案する(岐阜地区男女共同参画委員会)
22	静岡県	<ul style="list-style-type: none"> ○ ロールモデル講演会、シンポジウム等研修会の開催 ○ 女性医師が、安心して継続勤務できるサポート体制の整備 ○ 男性医師も含めた県内医師の勤務環境調査と勤務環境支援 ○ 浜松医科大学女性医師支援センターとの連携 ○ 医師の働き方改革への対応
23	愛知県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員会の開催(偶数月、年6回) ○ 「勤務環境の整備に関する講習会」の開催 ○ 「医学生、研修医等をサポートするための会」の開催 ○ 「育児期就労支援に関するアンケート」を定期的実施(3年に1回)
24	三重県	<p>医療勤務環境改善支援センターや勤務医委員会と連携を取りながら、女性医師が働きやすい職場づくりを目指している。女性医師の勤務環境の整備やワークライフバランス等の啓発活動を通じて、就業継続支援、女性医師の意思決定の場への参画推進に努めている。</p> <p>女性医師支援センター事業中部ブロック会議等の開催を通じて情報共有・意見交換や、「医学生・研修医等をサポートするための会(令和元年11月26日)」「研修医との交流会(令和元年12月21日)」を開催し、医師会・大学・行政等、各団体との更なる連携の強化を図っている。</p> <p>「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」令和2年2月15日(土)開催予定</p>
25	滋賀県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「女性医師懇談会(地域における女性医師懇談会)」の開催 ○ 「医学生、研修医等をサポートするための会」の開催 ○ 研修医対象の研修会(WATCH in Shiga)にて、「医師のワーク・ライフ・バランスを考える会」の取り組みの紹介や研修会の案内 ○ 滋賀医科大学における講義(3年生)にて、キャリア教育 ○ 県医師会ホームページ(女性医師支援コーナー)での情報発信 ○ 各関係機関とのネットワークに参画 ○ 日本医師会男女共同参画フォーラムに参加

	都道府県医師会	具体的な内容
26	京都府	<p>女性医師に限らず、全ての医師が仕事と家庭(育児や介護等)を両立し、継続してキャリア形成できる環境の整備を目指し、協議を行っている。</p> <p>【主な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「医学生、研修医をサポートするための会」の企画・運営 ○ 医師のワークライフバランス支援のホームページの充実化 ○ 女性医師の勤務環境の現況に関する調査の実施
27	大阪府	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度に大阪府内の医師会を二次医療圏に分けた11ブロック、在阪5大学や病院協会、大阪府女医会、本会勤務医部会から各1名を委員に委嘱し、委員数を増員する等、再編成した上で、新たな視点に立ち、活動を開始している(委員19名、顧問1名) ○ 現状に即した内容に精通した講師を迎えシンポジウム開催等に取り組んでいる ○ 大阪府内11ブロックを二次医療圏4地域に集約し、委員で編成した「女性医師支援ワーキンググループ」を設置。同ワーキンググループには、男女共同参画検討委員会委員も所属するブロックにブロックに委員として参画しており、隣接ブロックとの情報共有や連携を強化することで新たな知見を得て、地域内における女性医師支援策の充実を図るべく活動を開始している ○ 各地域において、時代に即した内容を協議し、懇談会やシンポジウム等の開催を実施している
28	兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性医師再就業支援の取り組み ○ 兵庫県医師会ドクターバンク並びに日本医師会女性医師バンクとの連携 ○ 女性医師の会フォーラム・研修会の開催 ○ 研修会・フォーラム等の託児サービス ○ 「医学生・研修医等をサポートするための会」 ○ 女性医師支援相談窓口 ○ 研修医・勤務医のベビーシッターの費用一部負担 ○ 病院勤務医・研修医との懇談会 ○ イクボス大賞の実施 ○ ニュースレターの発行(年2回) ○ ホームページによる保育関連情報の提供 ○ 地域における女性医師支援懇談会 ○ 研修医ウェルカムパーティーへの協力
30	和歌山県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講演会での託児サービス ○ 地元医科大学生に対するワークライフバランス講義・研修医レター(女性医師バンクやワークライフバランス関連を含む)の発行・配布 ○ 県内新研修医に対するガイダンス(医師会について・女性医師について・地域医療連携について)及び歓迎会の開催 ○ 女性医師フォーラムの実施 ○ 県医師会ホームページ(女性医師コーナー)での情報発信 ○ 女性医師メンター制度 ○ 医師会報において日医女性医師バンクを広報 ○ 病児・病後児保育に関するアンケート調査 ○ 日医女性医師支援センターブロック会議を主務担当 ○ 病院長、管理者等への講習会開催

	都道府県医師会	具体的な内容
31	鳥取県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員会の開催 ○ 平成29年度より毎年開催している「鳥取県女性医師の会」の企画・運営 ○ 各地区医師会及び鳥取大学医学部附属病院ワークライフバランス支援センターとの連携
32	島根県	毎年、「島根県医師会男女共同参画フォーラム－医学生、研修医等をサポートするための会－」を計画・実施している。
33	岡山県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員会、総会、講演会等の開催 ○ 関連会議等への出席 ○ 関連イベントでの婦人科系疾患の検診啓発活動 ○ 運動のイベント(山陽女子ロードレース等)での救護活動 ○ 会報発行等
34	広島県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部会/総会の開催(合計年3回) ○ 各種講習会の開催(「勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者、管理者等への講習会」「医学生、研修医等をサポートするための会」「女子医学生と女性医師の交流会」) ○ 学会での女性医師相談受付ブース出展
35	山口県	<p>現在、7つのワーキンググループを設けて活動している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 勤務医環境問題グループ ○ 育児(子育て)支援グループ ○ 女子医学生キャリア・デザイン支援グループ ○ 地域連携グループ ○ 広報グループ ○ 総会グループ ○ 介護支援グループ
36	徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修会、講演会等 「医学生、研修医等をサポートするための会」 「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」 基幹病院を回り、委員会主催の座談会(今年度テーマ:病児保育に関して、昨年度テーマ:介護と仕事の両立に関して) ○ 女性医師支援相談窓口の設置 ○ 保育支援(お子様を連れて参加できるクリスマス会) ○ 結婚支援活動 ○ 会員向け保育支援・マミールーム ○ 「アン・ドウ・トロワ」再就業促進運動事業としての情報通信発行
38	愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性医師の医療現場での環境整備 ○ 男女共同参画の医療政策や医療行政及び医師会活動 ○ その他、男女共同参画社会の実現及び女性医師の積極的参画により、医師会活動の活性化と地域医療の推進に寄与するために必要な事項
39	高知県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年1～2回委員会の開催 ○ 「医学生・研修医等をサポートするための会」(大学医学部におけるの学生向け講義) ○ 大学医学部主催の初期研修医のための共通オリエンテーションに参加 ○ 高知県医師会主催による新研修医との交流会 ○ 基幹病院への訪問(医師会入会促進目的)

	都道府県医師会	具体的な内容
40	福岡県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 男女共同参画部会研修会 ○ 「医学生、研修医等をサポートするための会」 ○ 地域における女性医師支援懇談会の実施 ○ 女性医師相談窓口 ○ 臨時託児室の設置
42	長崎県	<p>第3次地域医療再生基金を利用して設立し、現在は長崎大学と共同で運営する「長崎医師保育サポート事業」を立ち上げ、その内容についての検討や、運営を行っている。メディア、県議会議員等にも委員として参加してもらい、男女共同参画についての意見交換をしている。</p> <p>また、長崎大学メディカルワークライフバランスセンターで行っているマタニティ白衣の貸し出しや、保育サポート等女性医師支援の運動をしている。</p>
43	熊本県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度は8月30日に男女共同参画委員会を開催 ○ 「医学生、研修医等をサポートするための会」「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」「地域における女性医師支援懇談会～クローバーの会～」を開催予定 ○ 10月19日に開催した九州ブロック会議の担当県として、九州各県に協力いただき、全国共通のテーマである「病児病後児保育」の調査の他、「学童保育に関するアンケート調査」を臨床研修病院、並びに病院勤務医師に実施。
44	大分県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講習会、研修会等 「女性医師の勤務環境整備に関する病院長・病院開設者等への講習会」 「医学生、研修医等をサポートするための会」 「医師確保のための職場環境を考える研修会」 「女性医師職場環境改善協議会（大学女性医療人キャリア支援センター、臨床研修病院、地域医療支援病院、医師会立病院等）」 ○ アンケート調査（女性医師の再就職支援に関するアンケート調査）
45	宮崎県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員会の開催 ○ アンケート調査の実施（不定期） ○ 2020.30実現をめざす地区懇談会の開催
46	鹿児島県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医学生・若手医師のキャリア支援 <ul style="list-style-type: none"> ① 医学生・若手医師との交流の推進 ② 鹿児島大学病院女性医師等支援センター・鹿児島県行政（ドクターバンクかごしま）との協力体制の強化 ○ 働き方改革 <ul style="list-style-type: none"> ① 女性医師・勤務医の労働環境改善対策の推進 ② 女性医師からの提言と日本医師会女性医師支援センター事業「病院長、病院開設者・管理者等への講習会」の開催 ③ 女性医師・勤務医の勤務環境の整備とワークライフバランス等の啓発 ○ 女性医師支援室の活性化と、若手医師のキャリア形成相談体制の充実、短期・長期離職者の再研修や復職支援 ○ 医師会の組織強化 <ul style="list-style-type: none"> 勤務医・研修医の入会促進と医師会活動への積極的参加の推進

	都道府県医師会	具体的な内容
47	沖縄県	<p>「女性医師部会役員会(年1回)」を開催し、以下事業の実施に向けて、内容等について検討を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「沖縄県医師会ドクターズフォーラム(年1回)」 ○「女性医師の勤務環境整備に関する病院長等との懇談会(年1回)」 ○「出張プチフォーラム(年1回)」 ○「初期臨床研修医への講義(おきなわレジデントデーキャリア教育セッション)の実施(年1回)」 ○その他、「女性医師支援センター事業九州ブロック会議」「男女共同参画フォーラム」「女性医師支援担当者連絡会」等へ役員を派遣している。

問4-5 その委員会や部会は勤務医委員会や勤務医部会と連携して活動を行っていますか

※「問4-1」で「1. はい」と回答した都府県医師会が回答

	都道府県 医師会	1. はい	2. いいえ	具体的な内容
2	青森県		○	平成26年度「勤務する医師の環境整備に関する講演会」を共催した。
3	岩手県	○		岩手県医師会女性医部会の活動に本会常任理事(勤務医部会長、副部会長)が参画している。
4	宮城県	○		本会勤務医委員会委員を兼任している委員がおり、情報を共有している。
5	秋田県	○		勤務医部会総会において、男女共同参画や若手医師支援に関連したシンポジウムを行っている。
6	山形県	○		勤務医部会役員会にて、女性医師問題も含み種々検討している。
7	福島県	○		勤務医委員会で企画運営し、開催している「勤務医フォーラム」において、女性医師支援に関する講演の時間を設けている。
8	茨城県		○	
9	栃木県	○		○ 男女共同参画委員会と勤務医部会は、研修会や講演会等を共催し、連携を図っている ○ 勤務医部会と男女共同参画委員会の一部の役員は兼任しているため、相互に協力体制を取りながら活動を行うことができている
10	群馬県		○	
11	埼玉県	○		勤務医部会の正副部会長が委員になっている。
12	千葉県	○		年1回開催の千葉県医師会男女共同参画懇談会を共催で開催している。 日医女性医師支援センターからの「医学生・研修医をサポートする会」を運営している。
13	東京都		○	
15	新潟県	○		勤務医委員会委員(1名)が構成員として参加している。
16	富山県	○		講演会の共催(富山県勤務医部会)。
17	石川県	○		委員4名が勤務医活動推進委員会委員と兼任し、研修会の企画等を行っている。
18	福井県	○		研修医のオリエンテーションを(県委託事業にて)開催している。
20	長野県	○		勤務医委員会で女性医師対策について検討をしている。
21	岐阜県	○		○ 男女共同参画委員会メンバーの中に、勤務医部会から選出の委員も含まれており、毎回委員会を合同で開催している(県医師会) ○ 委員会構成委員に市内病院の院長又は男女共同参画に関する委員に参加してもらっている。このことにより勤務医の問題にも関わる事ができる(岐阜市)
22	静岡県	○		親会議である勤務医委員会との合同会議および意見交換会・研修会を開催して、医師の働き方改革に関する情報の共有・連携を図っている。
23	愛知県	○		男女共同参画委員会担当理事と勤務医関連事業担当理事は、双方の委員会副担当として兼任しているため、情報提供及び情報の共有をしつつ、連携活動を常に行っている。
24	三重県	○		医療勤務環境改善支援センターや勤務医委員会と連携しながら、勤務環境整備、就業継続支援や、会議の開催を通じた情報共有をしている。
25	滋賀県	○		本会勤務医検討会と兼任している理事がおり、情報を共有している。
26	京都府	○		勤務医部会員に本委員会委員にも就任していただいている。

	都道府県 医師会	1. はい	2. いいえ	具体的な内容
27	大阪府	○		○ 男女共同参画検討委員会の委員を勤務医部会から推薦 ○ 勤務医部会において委員による委員会の報告
28	兵庫県	○		研修医ウェルカムパーティーの開催。
30	和歌山県		○	
31	鳥取県		○	
32	島根県		○	
33	岡山県	○		勤務医部会と合同で総会・講演会「医師の勤務環境改善ワークショップ」 を年1回開催している。
34	広島県	○		○ 「勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者、管理者等への 講習会」への勤務医部会共催 ○ 女性医師部会総会/勤務医部会総会の共同開催(予定)
35	山口県		○	
36	徳島県	○		合同で委員会や研修会を実施 ○ 医学生・研修医等をサポートするための会」 ○ 「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者 等への講習会」 ○ 新人研修医歓迎の集い
38	愛媛県	○		女性医師部会・勤務医病院部合同講演会の開催
39	高知県	○		当会では勤務医委員会や勤務医部会等の名称の会はなく、会員問題 委員会にて女性医師・研修医・勤務医師等全体を対応している。
40	福岡県	○		男女共同参画部会委員と勤務医部会委員の担当理事が一部兼任。 毎年、「勤務医部会・男女共同参画部会合同研修会」を合同で開催 している。
42	長崎県	○		保育サポートシステムは子育て中の女性勤務医の利用が多いため、 システムの周知や積極的な利用の呼びかけをお願いしている。 いる。最近では男性医師の利用も増えてきている。
43	熊本県		○	
44	大分県		○	
45	宮崎県	○		勤務医委員会に女性医師担当理事が参加している。
46	鹿児島県		○	女性医師の多くは勤務医であるので、今後、勤務医委員会と連携し、 「働き方改革」を通じた労働環境改善対策等に取り組んでいくことが重要 なことだと考える。
47	沖縄県		○	
	合 計	29	12	

問5 女性医師への取り組みについてご回答ください

(1) 女性医師に関する研修会や講習会を実施していますか

	都道府県医師会	1. はい	2. いいえ	具体的な内容
1	北海道	○		女性医師に限らず、キャリア形成支援を中心に実施している。 ○ 医学生・若手医師キャリア形成支援検討会 ○ 医学生・研修医と語る会 ○ 相談窓口利用者との懇談会 ○ 道内3大学において開催する「医学生と語る会」 ○ 医学生・若手医師キャリアデザインセミナー ○ 医師の勤務環境整備に関する病院開設者、病院長・管理者等への講習会
2	青森県	○		医学生・研修医向けセミナーを開催し、先輩医師と交流する場を設け、男女共同参画に関するテーマでディスカッション等を行った。今年度は大学主導で医学生向けセミナーを開催する予定。
3	岩手県	○		岩手県医師会女性医部会総会において講演会を開催した。 (講師:参議院議員 自見 はなこ先生)
4	宮城県	○		仙台市内、県北・県南で女性医師支援に関するセミナーを開催している。
5	秋田県	○		○ 女性医師等支援事業 ○ 「医学生・研修医等をサポートするための会」の開催 ○ イクボス啓発活動 ○ 病院訪問 ○ あきた医師総合支援センター(秋田大学)との連携
6	山形県		○	
7	福島県	○		「医学生、研修医等をサポートするための会」
8	茨城県	○		「男女共同参画フォーラム」
9	栃木県	○		女性医師部会において、特別講演会を年1回開催しており、地域で活躍している女性医師に依頼し、ワークライフバランス等をテーマに開催している。
10	群馬県		○	
11	埼玉県	○		○ 「医学生、研修医等をサポートするための会」 (平成30年10月21日、令和元年10月20日) ○ 総合医局機構 研修医ウェルカムパーティー (平成30年4月14日、平成31年4月13日) ○ 「病院長、病院開設者・管理者等への講習会」 (平成31年2月14日、令和2年1月23日開催)
12	千葉県	○		○ 「女性医師の勤務環境整備に関する講習会」 ○ 「地域における女性医師支援懇談会 なのはな交流会」 ○ 「男女共同参画懇談会」 ○ 婚活交流会～多職種意見交換会～
13	東京都	○		「医学生、研修医等をサポートするための会」
14	神奈川県	○		○ 臨床研修医交流会 ○ 県内医学部学生と地域医療について語る会

	都道府県医師会	1. はい	2. いいえ	具体的な内容
15	新潟県		○	
16	富山県	○		○ 講演会の開催 ○ ガラスの天井を探る会の開催
17	石川県	○		○ 勤務医フォーラム ○ 病診連携の集い ○ 大学医学部講義 ○ 女性医師支援セミナー ○ 都市医師会女性医師との懇談会
18	福井県		○	
19	山梨県	○		山梨県専攻医・初期臨床研修プログラム説明会
20	長野県	○		医師のキャリア形成・継続の支援及び女性医師支援を目的として、県内の医学生、研修医を対象に「医学生、研修医等をサポートするための会(主催:長野県医師会、共催:日本医師会、長野県)」を開催している。
21	岐阜県	○		○ 男女共同参画講演会(年2回:そのうち1回は「医学生・研修医等をサポートする会」、女性医師等窓口相談員養成のための研修会(年1回)(県医師会) ○ 夏季(医療分野)と新年会(社会的分野)で研修会を開催しており、~30人の参加がある。 その他、年1回総会を開催している(岐阜市)
22	静岡県	○		○ 「女性医師ロールモデル講演会」の開催(令和元年9月13日) ○ 「キャリア支援シンポジウム」の開催(令和元年12月14日)
23	愛知県	○		○ 「勤務環境の整備に関する委員会」 ○ 「医学生、研修医等をサポートするための会」
24	三重県	○		○ 「医学生・研修医等をサポートするための会」 ○ 「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」
25	滋賀県	○		○ 「女性医師懇談会(地域における女性医師懇談会)」 ○ 「医学生、研修医等をサポートするための会」 ○ 「滋賀県女性医師交流会」
26	京都府	○		○ 「医学生、研修医をサポートするための会」

	都道府県医師会	1. はい	2. いいえ	具体的な内容
27	大阪府	○		<p>○ 平成30年 2/3「医学生、研修医等をサポートするための会」:大阪医科大学 2/10「第6(堺)・第7(泉州)ブロック大阪府医師会 女性医師支援シンポジウム」テーマ:こんな職場で働きたい! 若手医師に求められる支援とは? 11/30「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」テーマ:女性医師のキャリア形成と働き方を支えるために</p> <p>○ 平成31年 2/9「医学生、研修医をサポートするための会」:大阪市立大学</p> <p>○ 令和元年 6/6「第6(堺)・第7(泉州)ブロック 女性医師支援懇談会」 ～女性医師も男性医師も働きやすい職場を目指して～語ろう! Raconteur テーマ:「女性医師支援と働き方改革」<<病院訪問による管理者等との懇談>> 9/7「第3(北河内)・第4(中河内)・第5(南河内)ブロック大阪府医師会 女性医師支援シンポジウム」テーマ:女性医師の働き方の現状と課題 「第8(大阪市北部)・第9(大阪市西部)・第10(大阪市東部)・第11(大阪市南部)ブロック女性医師支援ワーキンググループ」では、「働き方改革への対策・パンフレット作成」に向け、検討中。</p>
28	兵庫県	○		<p>○ 女性医師の会フォーラム(年1回夏)</p> <p>○ 女性医師の会研修会(年1回冬)</p> <p>フォーラム、研修会共、女性医師のおかれている環境(出産、育児、介護等により診療業務の中断を余儀なくされる)や女性医師が活躍できるような勤務状況等の諸問題を検討し、共に考えていくことを目的にしている。</p>
29	奈良県		○	

	都道府県医師会	1. はい	2. いいえ	具体的な内容
30	和歌山県	○		<ul style="list-style-type: none"> ○ 和歌山県立医大4年生へのワークライフバランス講義(医学生をサポートするための会):H29.10.20 ○ JOY JOY Meeting (女性医師限定の講演会):H29.11.16 ○ 日赤和歌山医療センター新研修医へ講演(女性医師関連):H30.3.28 ○ 和歌山県立医大新研修医へ講演(女性医師関連):H30.4.3 ○ 県内全ての新研修医歓迎会を開催:H30.4.5 ○ JOY JOY Meeting:H30.4.11 ○ JOY JOY Meeting:H30.7.12 ○ 和歌山県立医大4年生へのワークライフバランス講義(医学生をサポートするための会):H30.10.12 ○ JOY JOY Meeting:H30.11.14 ○ 女性医師の勤務環境整備に関する病院長等への講習会:H31.1.19 ○ 日赤和歌山医療センター新研修医へ講演:H31.3.28 ○ 和歌山県立医大新研修医へ講演:H31.4.2 ○ 県内全ての新臨床研修医歓迎会を開催:H31.4.4 ○ JOY JOY Meeting:H31.4.17 ○ JOY JOY Meeting:R1.7.10 ○ 和歌山県立医大4年生へのワークライフバランス講義(医学生をサポートするための会):R1.10.11 ○ 日本医師会女性医師支援センター事業近畿ブロック会議を主務:R1.10.12
31	鳥取県	○		平成29年度より「鳥取県女性医師の会」を開催し、大学や地区医師会における取り組みの紹介や自身の体験談等を発表してもらい、意見交換会等を行っている。
32	島根県	○		「島根県医師会男女共同参画フォーラムー医学生、研修医等をサポートするための会ー」を年1回開催している。
33	岡山県	○		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「医学生、研修医等をサポートするための会」 ○ 医師の勤務環境改善ワークショップ(女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会) ○ 天晴れおかやま女性医師リーダー養成ワークショップ(女性指導医の活躍促進のため、指導医を育てることを目標にした女性医師指導医育成セミナー)
34	広島県	○		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」 ○ 「医学生、研修医等をサポートするための会」 ○ 「女子医学生と女性医師の交流会」
35	山口県	○		年1回男女共同参画部会総会・特別講演会、シンポジウム等を開催している。
36	徳島県	○		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「医学生、研修医等をサポートするための会」 ○ 「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」

	都道府県医師会	1. はい	2. いいえ	具体的な内容
37	香川県	○		「医学生、研修医等をサポートする会」として「医学生と医師の卒後キャリア形成に関する情報交換会」を香川大学医学部附属病院に協力してもらい、年に1度開催している。
38	愛媛県	○		○「男女医学生と研修医をサポートする会」 ○ 女性医師部会と勤務医病院部の合同講演会 ○ 西予市おイネ賞表彰式の共催
39	高知県	○		○「医学生・研修医等をサポートするための会」(大学医学部に おいての学生向け講義) ○ 大学医学部主催の初期研修医のための共通オリエンテーション
40	福岡県	○		「地域における女性医師支援懇談会」を各地で開催。本会理事より女性医師支援に関する諸問題について報告し、意見を聴取している。
41	佐賀県	○		平成19年度以降、年に1回「女子医学生・女性研修医等をサポートするための会」として開催していた。対象を拡大し、女性医学生を中心に、男性医学生等も含め「医学生・研修医等をサポートするための会」として開催している。
42	長崎県	○		平成22年度から長崎県医師会主催、長崎県女性医師の会(長崎大学病院内)、長崎大学医師育成キャリア室、長崎県、日本医師会との共催による「医学生、研修医等をサポートするための会」を毎年実施。本年度も令和元年10月4日長崎市で開催した。
43	熊本県	○		○「医学生、研修医等をサポートするための会」 ○「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」 ○「地域における女性医師支援懇談会～クローバーの会～」
44	大分県	○		○ 講習会、研修会等 「女性医師の勤務環境整備に関する病院長・病院開設者等への講習会」 「医学生、研修医等をサポートするための会」 「医師確保のための職場環境を考える研修会」 「女性医師職場環境改善協議会(大学女性医療人キャリア支援センター、臨床研修病院、地域医療支援病院、医師会立病院等)」 ○ アンケート調査(女性医師の再就職支援に関するアンケート調査)
45	宮崎県	○		○「女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」 ○「医学生、研修医をサポートするための会」
46	鹿児島県	○		○「医学生、研修医等をサポートするための会」 ○「地域における女性医師支援懇談会」 ○ 大学病院女性医師等支援センターと時宜に合わせたテーマで、医学生・研修医等を対象にシンポジウムを開催

	都道府県医師会	1. はい	2. いいえ	具体的な内容
47	沖縄県	○		<p>○「沖縄県医師会ドクターズフォーラム」 全医師の20%が女性医師となり、女性医師を取り巻く現状や諸問題の解決に向けて様々なテーマを取り上げ、フォーラムを企画開催している。</p> <p>○「女性医師の勤務環境整備に関する病院長等との懇談会」 女性医師の働きやすい勤務環境を整えていくことが、医師確保の面からも喫緊の課題であると考えている。そのため、各施設の女性医師の働きやすい環境をめざし意見交換を行い、より良い勤務環境整備や環境改善等につなげる。</p>
合 計		42	5	

(2) 女性医師等相談窓口事業に対する取り組み状況と、その具体的な内容を教えてください

	都道府県医師会	1. 設置済み	2. 交渉中	3. 未対応	4. その他	具体的な内容
1	北海道	○				<ul style="list-style-type: none"> ○ 育児支援事業 子育て支援事業者(NPO法人)と連携し、病気や緊急時に支援する。 ○ 復職支援事業 地域における復職研修支援を実施し、復職を目指し研修を希望する女性医師等に対して、より身近な地域の医療機関において研修が受けられるよう医療機関へ委託する。
2	青森県	○				青森県からの委託で医師相談窓口を設置。医師就業及び各種相談、保育相談等に対応している。
3	岩手県	○				<ul style="list-style-type: none"> ○ 仕事と育児を両立させたいという医師に対して育児サポートを紹介している ○ 離職によりブランクがある医師に対して、岩手医科大学の協力を得て、復帰研修を実施している
4	宮城県	○				電話およびホームページのメール受付フォームにて相談を受け付けている。
5	秋田県	○				<ul style="list-style-type: none"> ○ 相談窓口事業の広報(ホームページ、チラシの配付等) ○ 支援員による個別の相談対応 ○ 支援員の研修 ○ 事業周知および課題共有のための病院訪問
6	山形県	○				山形県女性医師支援ステーションを設置し、ホームページやSNSを利用し、女性医師向けに情報を発信している。又、電話・メール等による相談・対応を行っている。
7	福島県			○		
8	茨城県	○				<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性医師就業支援 ○ 病児保育支援 ○ 勤務環境改善支援センターと連携した相談対応
9	栃木県	○				女性医師部会事業の中に「相談窓口」としての機能を設けている。
10	群馬県				○	群馬県医師会保育サポーターバンクを設置している。医療介護総合確保基金を活用して、平成24年6月より子育て医師の保育支援を実施している。子育て医師保育支援相談員が、医師と保育サポーターをコーディネートし、病児保育にも対応している。補助金より利用料金の一部を助成している。
11	埼玉県	○				<ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページの設置 ○ 相談件数(平成30年度)19件 ○ 求人情報の掲載(約140件) 等
12	千葉県			○		

	都道府県医師会	1. 設置済み	2. 交渉中	3. 未対応	4. その他	具体的な内容
13	東京都		○			検討していく予定。
14	神奈川県			○		
15	新潟県	○				新潟県から「新潟県女性医師総合支援センター」事業を受託しており、その中で相談窓口を設置している。
16	富山県	○				開設場所： 富山県医師会事務局内 開設日： 平日のみ(土日祝除く)※富山県医師会事務局と同じ 対応時間： 9:00-17:00(相談者の時間帯に応じて対応) 従事する事務員： 1人 普及啓発の内容： ホームページ、会報誌、リーフレット
17	石川県	○				○ メンターによる院内活動(相談、情報提供、座談会等の開催) ○ コーディネーターによる相談対応 ○ 復職研修の実施 ○ セミナー等の企画と開催、大学医学部講義の参加 ○ メンター活動報告会の開催 ○ 郡市医師会女性医師との懇談会の開催 ○ 各種調査の実施 ○ パンフレット及びホームページの更新
18	福井県	○				窓口は設置しているが相談はほとんどない。
19	山梨県		○			
20	長野県			○		
21	岐阜県	○				県委託事業として、岐阜県医師会、地域医師会、臨床研修病院に女性医師等相談窓口の設置を進めている。
22	静岡県				○	静岡県が実施するふじのくに女性医師支援センター事業の一環として、浜松医科大学女性医師支援センターに配置されたコーディネーター(2名)との連携・協力のもと、相談窓口事業を含む女性医師支援事業の県内拡充を図る。
23	愛知県			○		
24	三重県			○		
25	滋賀県				○	県行政と滋賀医科大学との連携で「滋賀県キャリアサポートセンター」を同大学に設置。滋賀県キャリアサポートセンターでは、滋賀医科大学に相談窓口を設置し、現在、結婚、出産、子育て等により臨床現場を離れているが、現場復帰を考えている女性医師からの就業や研修に関する相談等に応じている。
26	京都府			○		
27	大阪府	○				問い合わせ、相談等は内容に応じて適宜、対応している。
28	兵庫県	○				育児、介護、復職、転職、再研修、勤務環境、仕事と家庭の両立、その他様々な女性医師が抱える悩みを先輩医師が伺い、アドバイスしている。

	都道府県医師会	1. 設置済み	2. 交渉中	3. 未対応	4. その他	具体的な内容
29	奈良県			○		
30	和歌山県				○	女性医師メンター制度：県内6施設7名の女性医師を女性医師メンター（助言者）として委託しているが、活動は活発ではない。
31	鳥取県	○				女性医師支援相談窓口（Joyz! しろうさぎネット）をホームページ内に設置し、女性医師からの相談を受け付けている。
32	島根県			○		
33	岡山県	○				相談窓口専用のメールアドレスを広報しており、相談があればコーディネーター（担当理事）と事務で対応している。
34	広島県	○				広島県医師会のホームページ・会報誌に「女性医師相談窓口」として掲載し、FAX・メールで相談を受けている。
35	山口県	○				<ul style="list-style-type: none"> ○ 育児支援を希望する女性医師のニーズに沿う保育施設及び保育に当たる者等に関する情報の提供 ○ 女性医師と希望先の保育施設及び保育に当たる者等との面接日時・場所の連絡調整及び面接同席（事前訪問による評価、女性医師への情報提供含む） ○ 山口県内における保育施設及び保育に当たる者等と保育内容の状況把握 ○ 関係団体との連携、ホームページや医師向け刊行物への広告掲載等を通じた本事業に関する広報 ○ 女性医師の育児と勤務の両立を支援するための相談対応等 ○ その他、広報パンフレット・相談整理票の作成
36	徳島県	○				<ul style="list-style-type: none"> ○ ホームページ、リーフレット作成 ○ 基幹病院での広報活動
37	香川県				○	<ul style="list-style-type: none"> ○ ドクターバンクを運営しているので、女性医師の求職があった場合には適宜相談に応じている ○ 女性医師・医学生サポートネットとして「香川オリーブねっと」を開設しており、問い合わせフォームより相談があった場合は対応することとしている
38	愛媛県	○				
39	高知県	○				<ul style="list-style-type: none"> ○ 育児に関する相談 ○ 就労環境改善事業の案内 ○ 病院内保育所事業の案内
40	福岡県	○				相談窓口を設置しているが、現実問題としては窓口が活用されていない状況がある。対応を検討中。
41	佐賀県				○	<p>本会で相談窓口事業は行っていないが、県が設置している地域医療支援センター内で実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 復職のための研修受入医療機関の紹介 ○ 復職のためのプログラムを作成し、研修を実施 ○ 出産・育児及び離職後の再就業に関する相談支援 等

	都道府県医師会	1. 設置済み	2. 交渉中	3. 未対応	4. その他	具体的な内容
42	長崎県				○	長崎県医師会としては行っていないが、長崎大学mWLBで相談を行っている。
43	熊本県				○	本会は直接関与していないが、平成23年度より熊本市医師会が熊本県の委託を受けて「熊本県女性医師キャリア支援センター」を開設し、その中で相談窓口事業が行われている。又、平成28年度より本事業を熊本大学病院に委託し、熊本県地域医療支援機構内で運用を開始。現在、相談窓口事業において求人情報の提供を行うとともに、メンター制度の実施やマタニティ白衣の貸し出し等に取り組んでいる。
44	大分県				○	検討中。
45	宮崎県	○				出産、育児、保育、介護等の問題について、利用できるサービスの情報提供。就業支援。その他、多岐にわたる相談。
46	鹿児島県	○				<ul style="list-style-type: none"> ○ 電話やメール等で家事代行等の相談を受け付けている ○ 女性医師バンクと共に女性医師就労支援 ○ 復職・就労状況等について相談を受けている ○ 研修会時における託児所の開設
47	沖縄県	○				
合 計		27	2	9	9	

(3) その他の取り組みがありましたらご記入ください

	都道府県 医師会	事業名等	具体的な内容
1	北海道	無料職業紹介事業	復職を希望している相談窓口利用者に対し、医療機関の求人情報の提供と復職研修終了後の再就職先の紹介に加えて、雇用関係の成立までを支援する。
		北海道医師会勤務医部会若手医師専門委員会の設置	医療を取り巻く諸問題に関して、次世代を担う若手医師の視点から検討を行い、その世代の意見を反映させることで組織強化を図り、すべての医師がより良い環境で活躍できることを目的に、女性医師に限らず様々な能力・価値観を持った多様な人材による専門委員会を設置している。
2	青森県	臨床研修病院訪問	臨床研修病院を訪問し、管理者・研修担当医師・勤務医・研修医を対象に病院の特色や現状、将来像等の意見を伺う。又、医師会事業について紹介を行う。
		ニュースレターの発行	隔月で女性医師支援関連の行事や県内医師からの寄稿を掲載しているニュースレターを発行している。
4	宮城県	研修指定病院訪問	県内(主に仙台市内)の病院を訪問し、日医女性医師支援センターや宮城県医師会女性医師支援センターの取り組みの紹介、訪問病院の制度や実態についてディスカッションを行っている。
		医師を目指す高校生向け研修会	高校生向けとして医師の仕事の素晴らしさ等について講演。講演者の選定にあたっては、なるべく女性医師も加わってもらうようにし、女性特有のライフイベントと仕事の両立における工夫等を話してもらうようにしている。
		託児サービス併設費用助成	県内で開催される研修会及び講習会、各医学会等に託児室を設置する際の費用を助成している(宮城県からの補助金で実施)。1研修会(講習会)につき2万円を限度としている。
5	秋田県	指導医ワークショップ	「男女共同参画」についての講義を行っている。
		新医師歓迎レセプション	県医師会主催の新医師歓迎会において、「男女共同参画」への取り組みについて紹介をしている。
10	群馬県	群馬県保育サポーターバンク	医療介護総合確保基金を活用して、平成24年6月より子育て医師の保育支援を実施している。子育て医師保育支援相談員が、医師と保育サポーターをコーディネートし、病児保育にも対応している。補助金より利用料金の一部を助成している。
11	埼玉県	病院訪問	県内の病院を訪問し、女性医師支援の状況についてホームページに紹介。
		女性医師懇談会	地区医師会の女性医師の連携状況などを報告している。 平成30年10月6日開催(出席女性医師35名) 令和元年11月9日開催
15	新潟県	新潟大学医学部生への講義	例年、新潟大学医学部医学科の1年生を対象に男女共同参画をテーマとした講義を開催している。
		子育て世代医師との意見交換会	子育て支援、キャリア支援の現状を把握するため、女性医師の先生方と女性勤務医小委員会委員、及び本会担当役員との懇談会懇談会を開催している。

	都道府県 医師会	事業名等	具体的な内容
16	富山県	富山大学医学生への講義、臨床研修医への女性医師支援事業説明、研修医大会	本会役員がその都度出向き、本会の女性医師への取り組みを説明するとともに、女性医師支援相談窓口の紹介をする。
		巡回相談	本会役員が県内の病院等を直接訪問し、それぞれの病院での取り組みや現場で働く女性医師からの話を伺う。
17	石川県	研修会等の開催時における託児所の設置	女性医師を対象としたセミナー等を開催する際、託児所を設置している。
21	岐阜県	地域における女性医師支援懇談会(岐阜市)	地域における女性医師の支援を行うため、悩み相談等を行っている。
23	愛知県	育児期就労支援に関するアンケート	県下322病院(2019年7月現在)を対象に、男女問わず育児期も継続して働いていくために、各病院にどのような就労支援があるか調査することを目的に、平成30年に実施。結果は本会ホームページに掲載。
24	三重県	「女性が働きやすい医療機関」認証制度	医療従事者の確保を図るため、妊娠時・子育て時の当直免除、短時間勤務に係る制度整備、また、これらの制度や施設の活用を促す職場の雰囲気作り等の勤務環境改善に取り組んでいる医療機関を県が認証し、女性の医療従事者が働きやすい環境作りの促進を図ることを目的とする制度。
25	滋賀県	滋賀県女性医師ネットワーク運営事業	滋賀県からの委託事業として、滋賀県病院協会、滋賀医科大学、滋賀県医師会の3者共催事業を実施している。 ○女性医師ネットワークの形成 ○県内女性医師の交流 ○ワーク・ライフ・バランスの進め方の検討
		医・Deあいプロジェクト実行委員会	若い医療関係者の出会いの機会を作り、結婚を応援することにより、医療関係者の県内定着及び少子化対策を図ることを目的に、三師会で共催事業を実施している。 ○クリスマスパーティー ○料理教室
26	京都府	子育てサポートセンター	京都府内の医師(会員・非会員とも)を対象として子育て関係の相談やベビーシッターの手配を行っている。自宅へのシッター派遣だけでなく、本会館内にも託児ルームがあり、託児可能となっている。
		女性医師バンク	無料職業紹介事業として設置。
27	大阪府	大阪府医師会院内保育所ネットワーク事業	平成19年度から、女性医師の就業環境整備及び支援を目的として、大阪府内の医療機関が設置する院内保育所を、最長6か月の期間、自院に勤務する職員以外の女性医師が利用できるネットワークを構築・運用している。令和元年10月現在、16医療機関が参画している。
		講演会、研修会等の開催時における保育ルーム設置	大阪府医師会主催による講演会・研修会を開催する際に、託児を希望する医師のため、無料にて「保育ルーム」を設置している。

	都道府県 医師会	事業名等	具体的な内容
28	兵庫県	女性医師再就業支援センター	兵庫県の補助事業で、結婚や出産等で離・退職した女性医師の再就業を支援するため、医療機関と連携して研修を行う。
		病院の勤務医、研修医との懇談会	臨床研修病院を年3か所訪問し、病院長並びに男女を問わず勤務医、研修医に参加いただき、勤務医師支援の取り組み状況等を伺い、問題解決に向けてアドバイスする。また、医師会が行っている女性医師支援に関する制度の説明をする。医師会、病院の双方が問題点や取り組みを理解し、今後の活動に生かす。
29	奈良県	勤務医対策事業	本年2月に本会の勤務医を対象にアンケートを実施し、女性医師等の労働環境の把握に努めた。
30	和歌山県	和歌山県男女共同参画審議会への参加	同審議会委員として参加し、平成28年7月～平成29年3月には、和歌山県男女共同参画基本5ヶ年計画(第4次)の策定部会長として計画作りに取り組んだ。
		JOY JOY Meeting	女性医師(主に勤務)だけの為の講演会、性差医療の研修会を実施。
31	鳥取県	Joy! しろうさぎ通信	鳥取県医師会報に女性医師から自身の体験談や日々の診療で感じていること等を自由に投稿いただき、掲載している。
33	岡山県	学会等出席時の託児支援事業	岡山県医師会へ「保育支援会員」として登録した医師に対して、提携している託児会社の施設利用の費用補助を行っている(お子様1名500円/1時間)。対象者は県内の医師で、学会等の勉強会へへ出席するために利用してもらう。男女は問わない。
		保育施設検索サービス	県内の保育施設(学童を含む)へアンケート調査を行い、子育て中の医師が必要としている情報を盛り込んだ「検索システム」をホームページ上へアップしており、2年毎に更新している。
		天晴れジョイボスアワード	女性指導医の活躍を促進するために、女性指導医や次世代の女性指導医を顕彰する「天晴れジョイボスアワード」を創設した。女性医師が医療現場で指導医として活躍できるまでの障害には、ロールモデルや指導経験の不足があげられる。アワードの創設により、指導医育成のためのロールモデルを提供したいと考える。
34	広島県	保育サポーターバンク事業	子育て中の医師が仕事と家庭を両立するための支援。保育サポーターと依頼者の双方で合意すれば、支援内容に制限はない。報酬は医師と保育サポーターが話し合って決める。
		広島県女性医師支援総合会議	広島大学を中心に、広島県地域保健推進機構地域保健支援センター及び広島県医師会が主体となり、広島大学病院各診療科教授、関連病院病院長等により構成する「広島県女性医師支援総合会議」を設置し、女性医師のキャリア・復職支援、周囲の男性医師等からの相談対応等の活動を行っている。

	都道府県 医師会	事業名等	具体的な内容
35	山口県	男女共同参画推進事業助成金	女性医師の医師会活動への参画推進及び医師の働きやすい環境づくりと資質向上に寄与することを目的とした郡市医師会の事業実施を支援するため、10万円を上限に助成する。
		女性勤務医ネットワークの構築	保育サポーターバンク等の若い女性医師が必要とする情報を、各病院に勤務する若い女性医師へ直接情報を発信するために、病院毎に連絡係りを決めてもらい、ネットワークを構築した。
		仕事も！家庭も！応援宣言集やまぐちの発刊	医師が働きやすい環境づくりに取り組む姿勢を「医師のための男女共同参画応援宣言」として宣言したものを応援宣言集として冊子に取りまとめた。
		女子医学生インターンシップ	女子医学生が夏季休暇の間等を利用して、医療機関で働く女性医師の下で数日間一緒に過ごし、仕事を辞めずに働き続けるためのモデルとして、先輩女性医師に指導していただいている。
		連携会議の開催	郡市医師会の男女共同参画部会との情報交換及び連携強化
36	徳島県	保育支援事業 他	全ての講演会・研修会にマミールーム設置。病児保育を経営している先生、又そのスタッフ達との情報交換会を男女共同参画委員会と保育支援委員会合同で初めて実施した。
		再就業促進運動事業	レターを作成し、大学の入学式・卒業式、また新人研修医歓迎の集い等で配布。
		結婚支援活動	
42	長崎県	長崎大学病院メディカル・ワークライフバランスセンター	長崎大学病院に設置し、専任のスタッフを配置して、女性医師の離職防止や復帰支援を、一元化した総合的な取り組みを行い、医療における仕事と家庭が両立できる職場環境を実現する。
45	宮崎県	研修会等への無料託児サービス	医師会主催の研修会等への無料託児ルームの設置。
		宮崎県医師会女性医師保育支援サービスモデル事業	子育て中の女性医師等が、急な残業や出張、子どもが病気の時（病気回復期）等に、安心して子どもを預けることができる一時的な預かり保育の支援を行う。
46	鹿児島県	院内保育園・病児保育施設訪問	7年にわたって県内の院内保育園、病児・病後児保育施設訪問を実施し、会報に掲載すると同時に、今後どのように発展させていくべきか等を提言する誌面としている。保育事業に対する意識が高まり、保育園の開設、あるいは保育内容が充実してきた園もある。また、今後は、公的な学童保育（児童クラブ）の保育時間の延長等、学童保育（児童クラブ）の課題について他職種の方々とも連携して取り組んでいくことが必要だと思っている。
		医学部を卒業する女子学生への医師会のPR	毎年、鹿児島大学医学部を卒業する女子学生へ、卒業証書授与式で日医女性医師支援センターのグッズ、並びに担当理事からのメッセージを配布し、医師会と医師会の女性医師サポート事業をPRしている。

	都道府県 医師会	事業名等	具体的な内容
47	沖縄県	出張プチフォーラム	県内の医療機関を訪問する等、医師としてのキャリアアップやキャリアパス形成・女性医師の勤務環境の現況を説明し、今後必要となる対策等について懇談を行っている。
		初期臨床研修医への講義	女性医師等が抱える様々な課題に適切に対処し、男女共同参画社会の実現を果たしていくためには、研修医の時期からキャリア教育や職業意識の啓発が極めて重要であり、研修医向けの講義（おきなわレジデントデーキャリア教育セッション）に役員を派遣している。

問6 取り組み上、何か問題をかかえていれば、その具体的な内容をご記入ください

	都道府県 医師会	具体的な内容
1	北海道	<ul style="list-style-type: none"> ○ 育児サポート事業を全道的に展開するためには広域すぎて支援が困難な地域が多い ○ 介護サポート事業を展開する場合も、育児サポート事業と同様の問題がある ○ 製薬メーカー各社が医師を対象に開催する研修会等で託児サービスを併設する際に、医師会が保育業務委託者を手配することと、託児サービス中の賠償保険ならびに傷害保険を集团契約する支援事業を開始し、メーカー各社の判断により実施できる状況であるにも関わらず製薬会社との契約が一向に進まない状況である
2	青森県	相談窓口の相談件数が年々減少傾向にある。
3	岩手県	県からの委託により女性医師就業支援事業を実施しているが、育児支援をコーディネートする相談員を本会にて雇用したいと検討している(群馬県医師会を参考)。しかしながら、適任者・予算等の課題があり、現在、県と協議を行っている。
4	宮城県	保育サポートのシステム設立を目指しているが、サポーターやコーディネーターの育成等、課題が多く実施困難な状況である。
5	秋田県	地域枠の女性医師が、子育てや新専門医制度で、科によっては研修が継続できる医療機関が限定されることを理由に、大学や主要地病院以外の医師が不足している地域への就職を嫌がる。
7	福島県	女性医師支援のために、パートやフリーランスの医師、産休を含めた未就労の女性医師の働き方の問題をいかにして把握するか。
8	茨城県	病児保育支援については、病院側に積極的に推進をお願いしているところだが、個々の病院内での考え方やコストの問題等、なかなか進まない状況である。病院において病児保育を推進することで、人材確保等、病院にもメリットがあるため、病院側に積極的に動いてもらう必要がある。
9	栃木県	復職希望の女性医師に関する情報については、女性医師部会の活動の1つである部会員メーリングリスト内で、部会員からの発信により情報共有を行うこととしているが、未就業の女性医師の把握については不十分であり、今後の情報提供方法が課題である。
10	群馬県	群馬県医師会保育サポーターバンクは、今後も医療介護総合確保基金を活用して事業を継続していく予定であるが、利用者が増えている中で、今後事業を十分に運営するための金額が交付されるかが不透明であることや、保育サポーターの人数の確保が問題である。
11	埼玉県	未就労女性医師の把握の方法。
12	千葉県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医師会事務局が対応する場合の負担(事務量)、賃金 ○ 千葉県では女性医師等就業支援を外部に設置(NPO法人千葉医師研修支援ネットワーク)している。就業支援についての相談は、NPOと日医女性医師バンク、医師会とで連携をとるようにしているが、個人情報保護の点等から情報共有がしづらい
15	新潟県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性医師支援をテーマとした講演会、研修会を企画しても女性医師の参加者が少ない ○ 女性医師におけるライフイベントについて、病院管理者によってその理解に濃淡がある
16	富山県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 産休期間中、再開時の身分保障、育休がとれるかなど社会保険労務士でないとわからない相談が増えていること ○ 女性医師をアシストする医師が疲弊しないよう取り組みを進める必要があること ○ 今後、医師会活動を引き継いでくれる若手の発掘が進まないこと
17	石川県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 復職研修の希望者がいない(求職者、未就労者の把握ができない) ○ 若手医師が多忙で医師会活動への参画、セミナー等の参加が難しい

	都道府県 医師会	具体的な内容
19	山梨県	女性医師の多くは大学病院等の病院勤務医が多く、県医師会として取り組むことが困難な状況である。各病院内にも、女性医師対策の組織はなく、その点でも困難な状況である。
21	岐阜県	○ 医療現場での生の声を聞くために病院訪問を行っているが、各科の勤務体制を検討する医師が女性医師に対する支援が医師全体の勤務環境改善に繋がるという医師の働き方改革に対し、どのような考えを持っているか等意見を伺う機会がまだ少ない。全く興味がないと言う医師がいると聞く(県医師会) ○ 参加者が少ない。特に若い方、研究、育児等で最も問題を抱えていると思われる方の参加が見られない(地域医師会)
22	静岡県	○ 「地域医療介護総合確保基金」を利用している事業であるため、予算執行時期等の制限が生じやすく、柔軟な対応をしにくい状況がある ○ 研修会やシンポジウム等の出席者数が少なく、周知や広報等に苦慮している
24	三重県	三重県では医師バンクを三重県医師会ではなく三重県行政に置いている。しかし、三重県医師会も窓口となっており、その情報を定期的に流してほしいが現在途切れている。名前はいらないので、年齢・性別・診療科・待遇の希望・地域等を教えてもらいたい、それも難しいようである。今後、医師会はさらに協力していきたいが、連携することが難しい。
25	滋賀県	○ ワーキンググループの委員を引き受けてくれる人材を探すのに苦慮している(特に理解ある男性医師の委員を探している) ○ 男女共同参画の我々の活動を「ウーマンリブ」の活動のように誤解して協力を拒む人がいた(「夫の病院での立場に影響があると困るので」とシンポジウムのシンポジストを断られた)
26	京都府	○ 子育てサポートセンターを昨年から設置したものの、認知度が低く利用者が年間10数名程度と少ない。また、前日や当日の急な依頼にも対応できるよう保育士の雇用に取り組んでいるが、経験豊富な保育士の確保が難しく難航している。今後は、利用者増加を目指し、ニーズに合ったサービス内容を提供できるよう調査を実施すること、広報活動に注力する必要があると考えている ○ 女性医師バンクは利用実績がほとんどない状況である
28	兵庫県	各種の支援体制を整えているが、その情報を最も伝えたい離・退職中の女性医師はほとんど医師会に所属していない。又、近年の個人情報取り扱いの厳格化から、対象者の把握が難しく、情報の提供に苦慮している。
30	和歌山県	○ 託児サービスの利用が低調である。今年度、営利企業(製薬会社)への広報も実施したが、今のところ反応はない ○ 各講演会等への若手女性医師の参加者は少ない。又、参加メンバーも固定されている
31	鳥取県	○ 毎年「鳥取県女性医師の会」を開催しているが、若手医師や研修医の参加が少ない ○ 相談窓口は設けているものの、相談者が少なくあまり活用されていない
32	島根県	支援対象は非会員の女性医師がほとんどで、医師会事業としての理解が得にくい。
36	徳島県	○ (男女とも)長時間労働の是正 ○ 勤務時間制限がある立場でも、重要な役割を担うようにする ○ 仮に短時間就業の立場でも、チーム医療の一員とする ○ 固定的性別役割意識の改善等、地域社会の考え方を変える活動が必要
39	高知県	平成22年9月に窓口を設置したが、設置当初に1件電話にて窓口事業に対する問い合わせがあり、それ以降、現在まで問い合わせ等一切ない。

都道府県 医師会		具体的な内容
40	福岡県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性医師相談窓口を設置しているが、相談件数が少ない ○ 上記の相談窓口の存在等も含め、キャリア支援に関する情報が、それを必要とする女性医師に届かない ○ 問3-1でも問われているように、女性医師の実態がつかめない。勤務中の女性医師についても県単位や政令都市等の女性医師数は公表されているが、郡市区単位では把握ができない。又、未就労の女性医師の把握ができない
42	長崎県	近年、独立法人となった大学病院が、恩恵を受ける女性医師に対して「受益者負担」を強く打ち出してきているために、予算の獲得に苦慮している。
44	大分県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相談窓口設置について ○ 勤務環境のために何が必要か
45	宮崎県	医師会からの案内や医療機関の協力により事業の利用者は増加しているものの、支援が必要でありながら情報の届いていない女性医師もいると思われること。
46	鹿児島県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現役医師(開業医・勤務医)との地域での関わりが少ないように感じる ○ 公的な学童保育(児童クラブ)の保育時間の延長等、学童保育の課題について、他職種の方々とも連携して取り組んでいくことが必要だと思っている
47	沖縄県	<p>各病院の現状、問題点について次のことが挙げられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 出産、育児等をする女性医師のサポートは「それぞれの科」が行っている(多数の病院より) ○ 院内保育はあるものの、病児保育、夜間保育がない ○ 女性医師は多いものの、仕事がハードすぎて、出産・育児をするという環境が整っていない ○ 相談しようと思っても、誰に相談していいのかわからない ○ 女性医師が少なく、まだ結婚、出産、育児をした女性医師が少ない ○ 女性医師の問題もそれぞれの年代で異なり、ギャップがある

問7 今後どのような取り組みが必要であるとお考えですか

	都道府県医師会	具体的な内容
1	北海道	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護支援事業 ○ 病児・病後児保育支援事業 <p>北海道の病院勤務医の4割が50代以上であり、20代の医師は増加傾向であるが、30代、40代は減少傾向にある。今後10年で多くのベテラン勤務医が定年退職をすることが見込まれており、地域医療の維持のためには、定年退職後の医師や退職を控えた医師の雇用も課題となっている。そのため、これらの医師の復職支援や継続勤務に向けたサポートにも積極的に取り組むため、本年度より「女性医師等支援相談窓口」に名称を変更し、育児・復職研修支援、無料職業紹介・相談窓口事業については継続し、新たに女性医師に限らずすべての医師からのキャリア相談、医師が働きやすい環境の整備、定年退職後の医師の雇用継続などについて対応することとした。</p>
2	青森県	ブロック会議等で他県の取り組みを参考にし、対応策を講じる。
3	岩手県	女性医師は今後増加の一途をたどる見込みであることから、医師会への加入を促進し、組織力を強化すること、又、より有意的な育児支援が必要であると考えている。
4	宮城県	保育サポートシステムの確立。
5	秋田県	病院長や大学管理者への理解を進めるような取り組みとして、例えばすでに女性役員が30%を超えているような他業種の考え方をその方たちに聞いてもらうようにして、取り組み推進に対して協力者になってもらう等検討中である。
7	福島県	問6に挙げたような女性医師を把握し、問題点を見出していく取り組みが必要である。
8	茨城県	問6を解決するために、個々で抱えている意見や問題を吸い上げ、医療機関側への病児保育推進をお願いしていく。又、茨城県(行政)の助成金紹介や、茨城県内の病院での好事例紹介等、病児保育の必要性を医療機関側へ訴えていくことが必要である。
9	栃木県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性医師数(非会員、未就労の女性医師数を含む)の把握 ○ 女性医師の離職防止支援 <ul style="list-style-type: none"> ・勤務を継続しやすい職場環境の整備支援、出産・保育支援や介護支援に関する取り組みが必要と考える。 ・勤務環境の整備に関しては、県行政から委託を受け運営している勤務環境改善支援センターと連携して取り組みを推進する必要がある。
10	群馬県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有効な保育サポーター募集方法の確立 ○ 女性医師のニーズの把握
11	埼玉県	女性医師(会員すべて、A1・A2・B含めて)の名簿作成予定。
12	千葉県	<ul style="list-style-type: none"> ○ シルバー人材の就業支援(シルバーバンク) ○ 女性医師だけではなく男性医師の就業支援 ○ スポット勤務、ワークシェアなどの対応
14	神奈川県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在、臨床現場から離れているが、現場復帰を目指している医師の悩みや課題について先輩医師がサポート・支援できるような取り組み ○ 保育と家族介護に対する取り組み ○ 多様な働き方の支援に関する取り組み ○ 職場の環境改善に対する取り組み ○ 若い女性医師とのネットワーク化
15	新潟県	新潟大学医学部と連携して、特に若い世代の女性医師から関心を持ってもらえる活動を行うとともに、先生方の状況に応じた適切なサポートが提供できるような仕組みづくりが重要であると考えている。

	都道府県医師会	具体的な内容
16	富山県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2024年までに医師の働き方改革でほとんどの病院が960時間を目指さなければならない状況の中、オンコールを勤務とみなすのであれば、医師数の少ない地方の病院や、眼科や耳鼻科のように1~2人体制で輪番や救急を担っているところは、勤務間インターバルを取ることが難しく、場合によっては外来を閉めなければならない状況になる。無報酬のオンコールによる拘束はありえないため、給与も支払わなければならないはずであり、病院経営は困難になるため、機能分化・集約化、または他病院とのすみ分けをしなければ維持は厳しい。逆にオンコールを勤務とみなさないのであれば、オンコールの際の保育やファミサポ等の費用は持ち出しになり、拘束による疲弊で地方から医師が去り、さらに偏在を悪化させることになる。このことも含め、地域医療構想+働き方改革+偏在対策で、女性医師支援問題に限らず、勤務医地方における医療体制に対し取り組みをお願いしたい ○ 現時点で女性医師をアシストする医師が疲弊しないよう時間外の待機や当直等の業務に対して十分な対価が支払われること ○ 職場全体で働き方改革を推進するための手段として各県勤務環境改善支援センターとの連携を強化すること ○ ハラスメント対応
17	石川県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世代別に対象を絞ったセミナー等の開催 ○ 県内病院の女性医師の勤務状況調査をより継続して実施する ○ メンターの活動を通して勤務する女性医師の悩みや問題点を把握し、各施設で共有し、メンター活動報告会等で解決に向けての意見交換を行っているが、必要に応じて、支援センターを通して各施設の管理者への働きかけを行う ○ メンターのメーリングリスト(立ち上げたばかりですが)を活用し、職場環境についてはもちろん、その他の様々な悩みや問題について共有し、その解決に向けて必要に応じて支援センターとして可能な調査や各施設等への働きかけを行う
19	山梨県	大学医学部附属病院で女性医師対策の組織ができればよいと思う。
21	岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医学生、研修医と医師会の接点を持てる会を増やし、医師会活動について知ってもらう。また、女性医師支援の取り組みについて、離職せず、継続して働くことができる環境が整っていることを医学生にしっかりアピールする。 勤務体制に関わる上司の医師が委員会、講演会にどうしたら積極的に参加するかを考えていく(県医師会) ○ 大学病院や市中病院での開催を増やしていく(地域医師会) ○ 管轄内の未就労、及び就労女性医師の把握や女性医師等の相談窓口設置に向けた具体的な取り組みを計画する必要があると考えている(地域医師会) ○ 女性医師という特別な括りでは考えていない。何らかのデータ(医師の合格者名簿等)から地区内の潜在者の確認ができればいいと思う(地域医師会)
22	静岡県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県医師会役員の女性医師比率を増やすこと ○ 勤務医の医師会入会を推進させること ○ 大学の「女性医師支援センター」との連携強化をさらに高めること
23	愛知県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 育児期における女性医師についてどのような形の支援を必要としているか ○ 大学入学前の中学・高校にて医師の職業についての出張授業を実施する、又、保護者への働きかけも必要となる

	都道府県医師会	具体的な内容
25	滋賀県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 若い世代が参加したくなるような魅力的な企画 ○ 多職種(歯科医師会や薬剤師会)と協力した企画 ○ 専門医制度に関連した制度対応
26	京都府	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育て支援に係るニーズ調査 ○ 子育てサポートセンターの周知の徹底 ○ 新専門医制度や医師偏在対策等が及ぼす医師への影響に係る検討
27	大阪府	勤務先の医療機関における管理者等、周囲の意識改革に重点を置き、男女に関わらず医師の勤務環境の改善に向けた更なる活動が必要と考える。
29	奈良県	<p>女性医師支援を含め、幅広く勤務医に対する支援が必要だと考えている。支援として、勤務医を対象にした講演会や懇談会、施設管理者向けの勤務環境に関する講演会、勤務医の実態把握のためアンケート調査等の取り組みを行うとともに、女性医師支援に関する情報提供も行っていきたい。</p> <p>又、医師会への若手医師・勤務医の入会率向上と組織強化のため、若手医師・勤務医への医師会入会促進の取り組みも必要であると考え。</p>
30	和歌山県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元医科大学でワークライフバランス講義が実施されているが、1つの学年で1講義(70分)のみであり、今後拡充されるとよいと思う ○ 研修医を含め、勤務医師の医師会入会が増加するための方策の検討が必用だと思う
31	鳥取県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学病院勤務女性医師の県内医師会への入会を促進する ○ 医師会ネットワークがあるが、女性医師専用はない。県内女性医師用ネットワークを作成し、相談窓口の存在や保育施設・病児保育等の紹介をする
32	島根県	女性医師の県医師会への要望、ニーズを把握し、その結果を踏まえて今後の取り組みを検討する必要がある。
36	徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学各医局、それぞれの基幹病院、また、地域社会に対し医師の現状、女性医師の現状を広報する機会を持つ ○ 建前だけでなく、今後必要な取り組みを話し合い、具体的な施策を講じる ○ 医学生のうちに、医師の現状を把握、増え続ける女性医師が仕事を続け、男女ともお互いの立場を尊重し、共に活躍できるように理解を深める機会を持つ
40	福岡県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学医局との連携を行い、医局単位でも未就労女性医師の把握、就労斡旋(女性医師バンク利用も含め)、キャリア支援をしてもらえるよう働きかける ○ 女性医師の医政や医師会活動への関心を高める。そのために、まず全ての郡市区医師会で女性役員を登用する ○ 医師の働き方改革の実行に向けて、全病院に女性医師支援委員、あるいはワークライフバランス委員を設ける働きかけを行う(長崎県、長崎大学の系列病院での試みに準じる)。ロールモデルを示すこと等で離職を防ぐ。又、権利のみを主張するのではなく、その時点でできる職務(休日日勤当直等)を行い、子育てが一段落したら、今度は支援を行う側に回るよう促す等

	都道府県医師会	具体的な内容
41	佐賀県	大学・医師会・行政の3者間の連携がうまくとれていない面があり、医師会としてどのような支援ができるかを検討していきたいと考えている。
42	長崎県	女性医師にこだわるのではなく、働き方改革を見てもわかるように、男女共の医師がより働きやすい環境をつくっていくこと。仕事にも家庭にもその特性を生かして、お互いを思いやりながら医師という仕事を続けられる仕組み、お互いに尊重し合う教育が必要。若い世代は変わりつつあることに注目である。
43	熊本県	九州ブロック会議で九州の全研修指定病院の勤務医(男女共)を対象として学童保育のニーズ調査を行った。本調査では1,001人(男性63.9%、女性35.8%、その他)から回答があり、女性の82%が学童保育を利用したことがある、または将来利用したいと回答した(男性は49%)。また、6年生まで、19時までの学童保育を希望する声が最も多い結果となった。今後、全国調査を希望したい。
44	大分県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性医師再就職支援プログラムの立ち上げを検討中(病院・診療所と大学と双方向の支援を医師会が関わる形で検討) ○ 相談窓口の設置に向けた対応を検討中
45	宮崎県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性医師のキャリアアップにつながる支援 ○ 男性女性に関わらず、上司や同僚の意識改革 ○ 病児・病後児保育の充実 ○ 学童保育の充実
46	鹿児島県	<ul style="list-style-type: none"> ○ 院内保育施設への予算 長年にわたる院内保育施設の訪問から、医療機関の経営的な負担が大きいと切実に感じた(1児童当たり約150万円程度)。日本医師会からも、既に国に対して、院内保育・病児保育の充実へ向けた予算措置を要望しているが、今後、院内施設への公的な財政的支援を求める。 ○ 保育士の数と質の担保、及び待遇の改善 保育士の質の向上と待遇等については、医療界だけではなく、社会全体で取り組む必要がある。

	都道府県医師会	具体的な内容
47	沖縄県	<p>現場医師からの意見として次のことが挙げられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 女性医師支援を各診療科に任せるのではなく、病院全体で取り組むことが必要 ○ ワークライフバランスをサポートする担当部署等、相談する場所を作り、窓口をはっきりさせることが必要 ○ 診療をチームでサポートするシステムの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・「女性医師支援」ではなく、「育児支援」「介護支援」という視点で働き方のシステムを考える ・ワークライフバランスについて、オフィシャルな場での意見交換を行える環境を整える ○ 男性医師支援にも力を入れて欲しい 男性医師も父であるのだから、男性医師が時間内に帰れる仕組み作り、さらに男性医師の育休取得を推奨する等、男性支援にも力を入れて欲しい。 ○ 医師の仕事量の調整 医師が定時に帰れないのは業務が多すぎるから。病院全体で仕事を減らすという考え方も必要。 ○ 病児保育、学童保育、夜間保育の設置 ○ 女性医師が働き続けるための支援 <ul style="list-style-type: none"> ・女性医師の就業率の推移は、M字カーブの曲線を辿ることから、就業率の減衰をできる限り小さくすることがポイントで、「職場の雰囲気・理解」「勤務先に託児施設がある」ことが重要な要素である。 ・女性医師の働き方は多様で個々に背景が異なるため、一律の対応ではなく、聞き取りを行いながら対応することが望ましい。 ・就業継続には男性医師の育児参加や学生時代からの男女共同参画教育が極めて大事である。